



トレーニング学習ナビゲーション

取り扱い説明書

Ver. 1.00

Educom

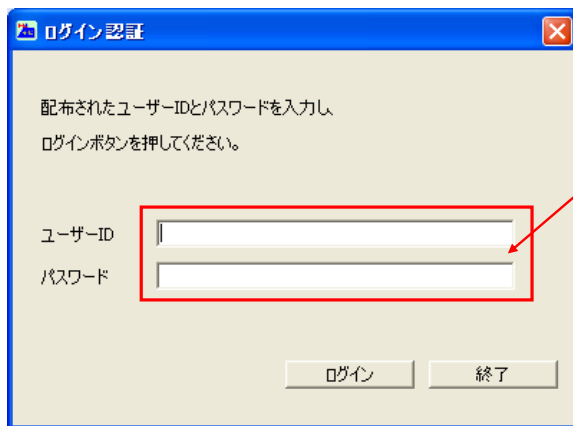
目次

●トレーニング学習ナビゲーションの起動	
1. ログイン認証を行います	3
2. ユーザー認証を行います	4
3. システムが起動します	5
4. メニュー画面が表示されます	6
5. バージョンアップ処理を行います	7
●業務の選択	8
●プリント作成機能	
1. プリント作成画面	9
2. 科目・コースの選択	9
3. 定期試験教材作成: 出題ページ範囲選択	10
4. 定期試験教材作成: 問題レベル選択	10
①定期試験「WeakPoint」抽出機能	11
②定期試験「問題種別」抽出機能	13
5. 定期試験: 問題番号指示	15
6. 習熟学習教材作成: 習熟項目選択	19
7. 生徒指示と印刷	21
8. 印刷設定 各機能説明	23
9. 問題表示・印刷	24
●生徒登録・編集機能	
1. 生徒登録・編集画面	30
2. 生徒の新規登録	30
3. 生徒情報の編集・削除	31
●試験結果入力機能	
1. 試験結果入力画面	32
2. 試験結果の登録	33
3. 誤答問題のWeakPoint印刷	35
●生徒成績管理機能	
1. 生徒成績管理画面	37
2. 生徒ごとの成績の検索・参照	37
3. WeakPoint再印刷	38
●メンテナンス業務	
1. 環境設定	40
2. データ更新	43
3. データ保守	44
(1) データのバックアップ	45
(2) データのリストア	46
(3) 生徒の進級処理	48
(4) 生徒成績情報のCSVファイルエクスポート	49
(5) CSVファイルからの生徒情報一括登録	50
4. その他	52
●システムの終了方法	53

●トレーニング学習ナビゲーションの起動

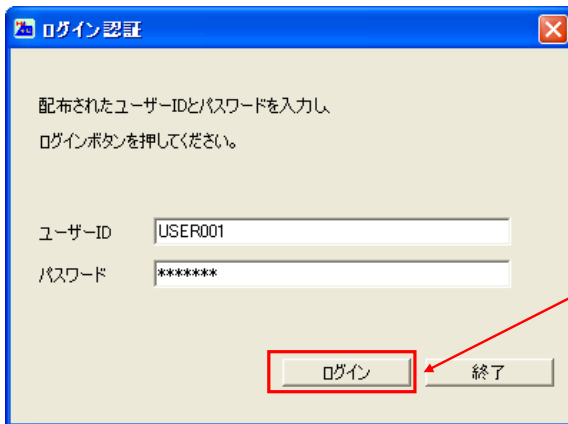
1. ログイン認証を行います(トレナビサーバーへの接続が必要です)

- ・パソコンを起動し、デスクトップ上のアイコンをクリックしてください。
または(スタート→全てのプログラム→トレナビ学習教材→トレナビ学習教材)
- ・システムが起動し、以下のログイン認証ダイアログが表示されます。
※ログイン認証は初回起動時のみです。初回以降はそのままユーザー認証に移ります。
(→2. ユーザー認証を行います P4)
- ・配布されたユーザーIDとパスワードを入力します。



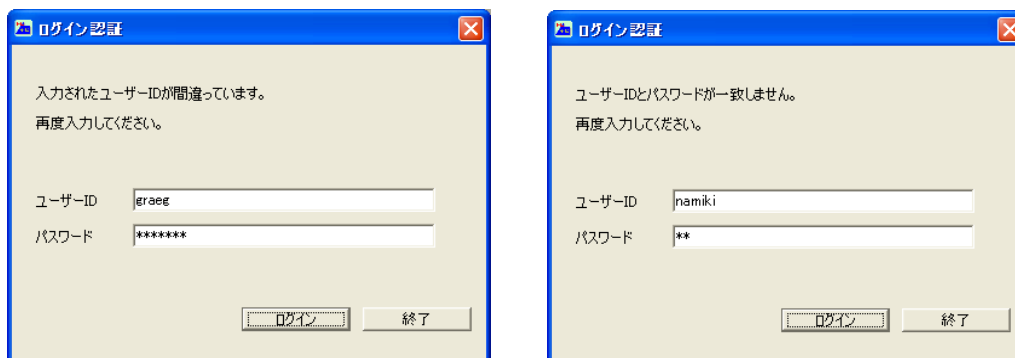
「ユーザーID」「パスワード」を入力します

- ・入力後、「ログイン」ボタンをクリックします。

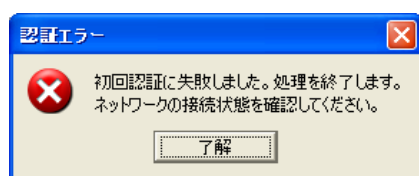


「ログイン」ボタンをクリックします。

- ・入力間違いの場合、再度入力を促すダイアログが表示されます。

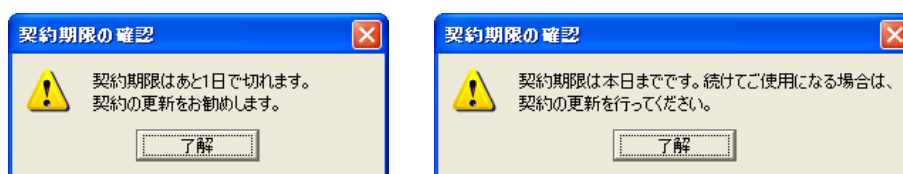


- ・初回認証時にトレナビサーバーへ接続できない場合、以下のダイアログが表示され、システムが終了します。



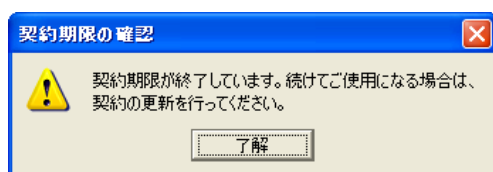
2. ユーザー認証を行います

- ・システム起動時にトレナビサーバーへ接続されている場合、ユーザー認証を行います。この処理は自動で行われます。
- ・**認証有効期限**が過ぎている場合(1ヶ月単位)、自動的に更新されます。
- ・**契約有効期限**が近い場合は、以下の確認ダイアログが表示されます。

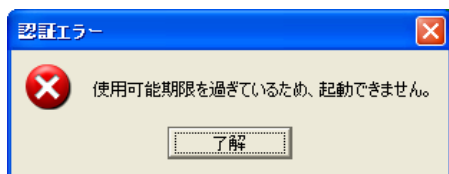


※本システムはトレナビサーバーに接続しなくても利用できますが、月に一度はサーバーに接続し、**認証の更新**を行ってください。(認証を受けない場合、利用できなくなります)

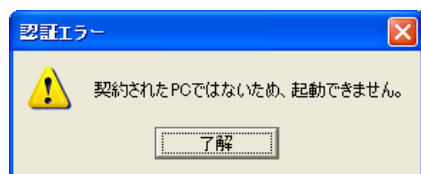
- ・**契約有効期限**が終了した場合、以下のダイアログが表示されます。



- ・**契約有効期限**が終了している場合や、**認証有効期限**が更新されていない場合は、以下のダイアログが表示され、システムを終了します。

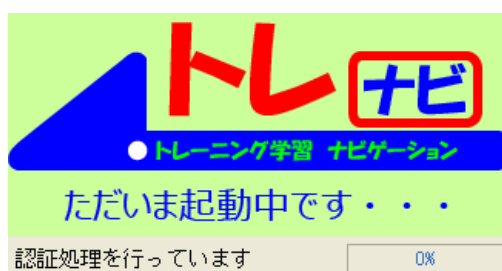


- ・初回認証を行ったPC以外から起動した場合、以下のダイアログが表示され、システムが終了します。
- ※複数台のパソコンで本システムをご利用になる場合は、台数分のIDをご契約ください。



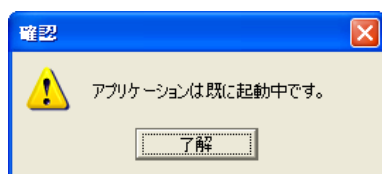
3. システムが起動します

- ・起動中は以下のウィンドウが表示され、処理の状況を示すプログレスバーが進行します。
- ・トレナビサーバーに接続されている場合、**最新の教材**と**お知らせ情報**のダウンロードが自動で行われます。



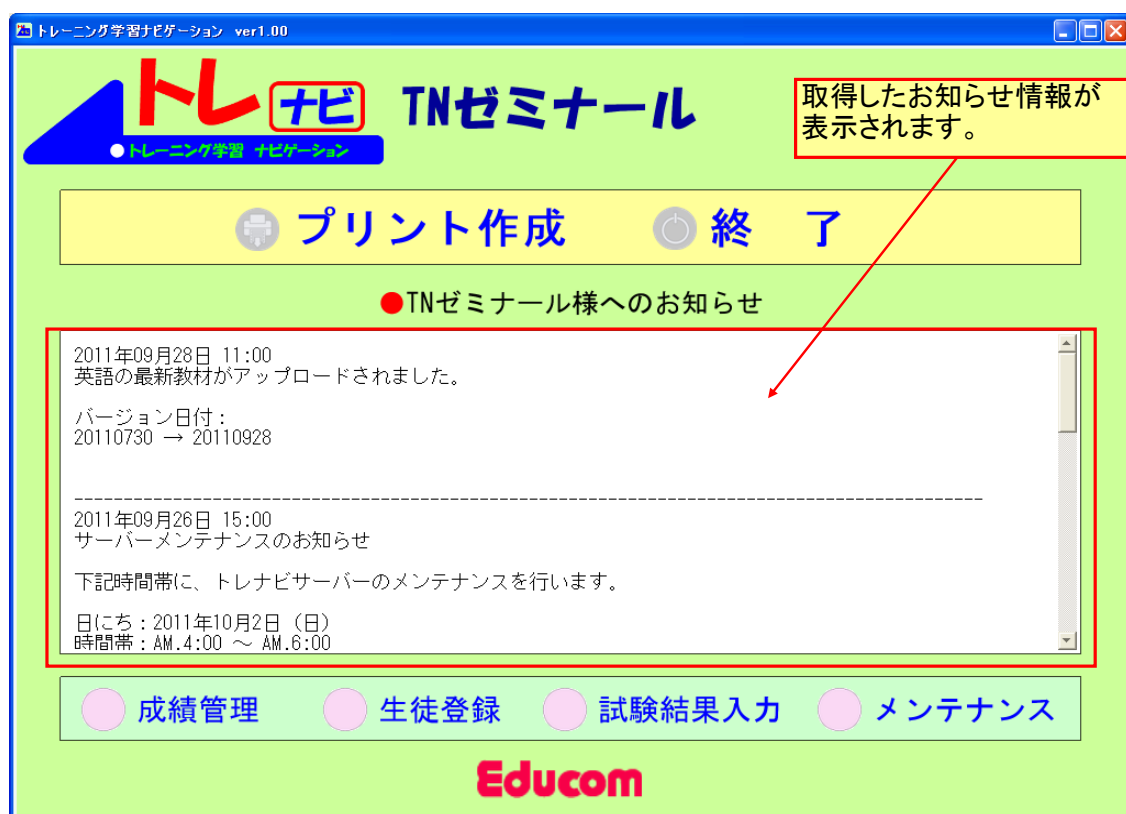
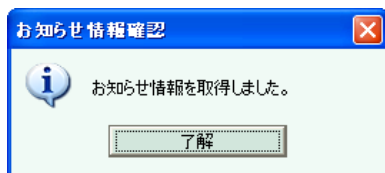
- ※初回起動時には、契約しているコースの教材を全てダウンロードするため、非常に時間がかかることがあります。

- ・システムを多重起動した場合、以下のダイアログが表示され、システムを終了します。

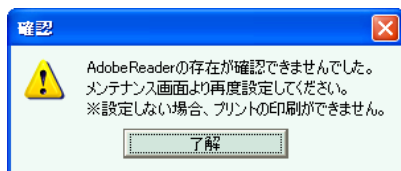


4. メニュー画面が表示されます

- ・正常に起動が完了すると、メニュー画面が表示され、操作可能になります。
- ・最新のお知らせ情報がダウンロードされた場合は、以下の確認ダイアログが表示され、お知らせ情報が日付の新しい順に表示されます。

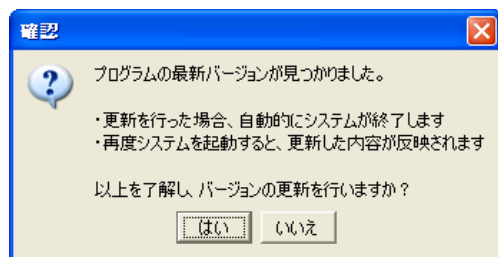


※設定されているAdobe ReaderのインストールディレクトリにAdobe Readerが存在しない場合、以下のダイアログが表示されます。表示された場合は、メンテナンス業務からAdobe Readerの読み込み先の再設定を行ってください。(→メンテナンス業務 P40)

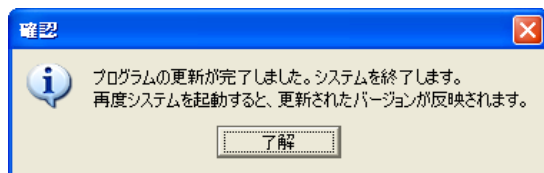


5. バージョンアップ処理を行います(トレナビサーバーへの接続が必要です)

- ・起動時、トレナビサーバーにシステムの最新バージョンがアップロードされていた場合、バージョンアップ確認ダイアログが表示されます。バージョンアップを行う場合、「はい」をクリックします。



- ・ダイアログで「はい」を選択した場合、バージョンアップ処理が開始されます。
- ・バージョンアップ完了後、以下のダイアログが表示され、自動的にトレーニング学習ナビゲーションが終了します。更新したバージョンを適用するには、再度トレーニング学習ナビゲーションを起動してください。

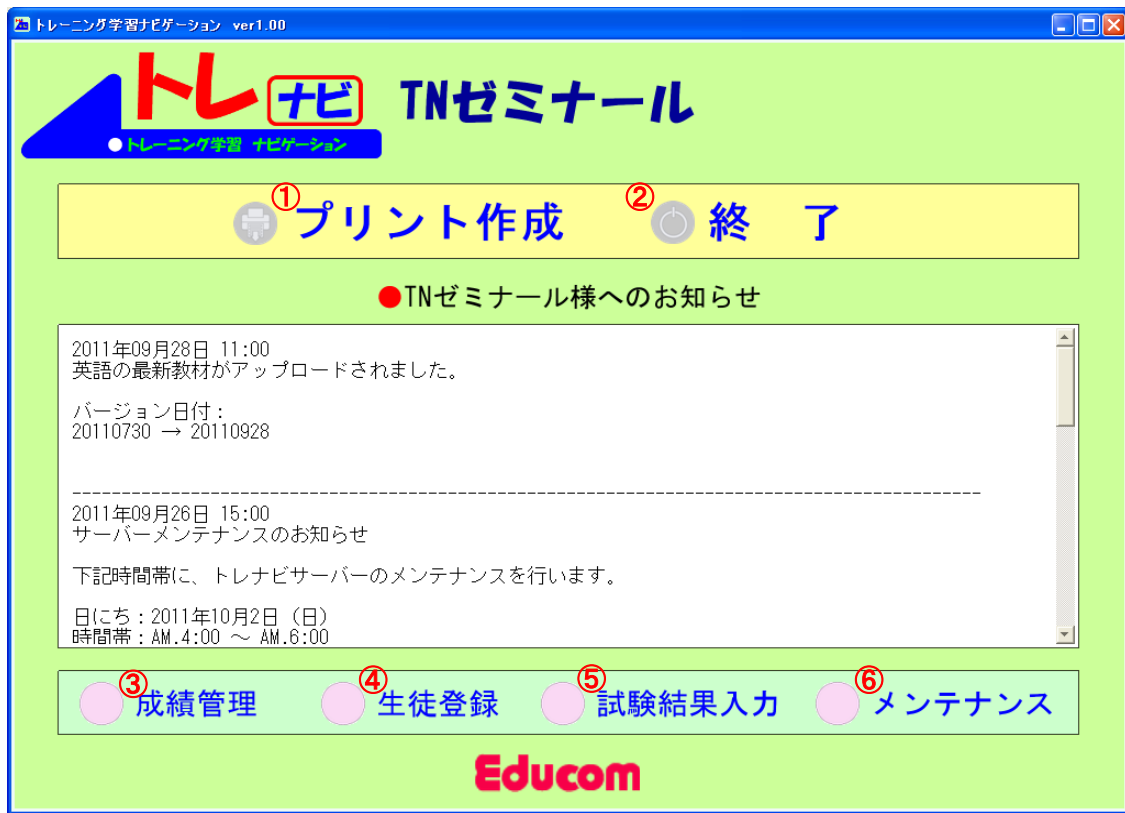


- ・現在のシステムバージョンは、タイトルバーに表示されています。



●業務の選択

・メニュー画面から業務を選択します(項目をクリックで選択してください)

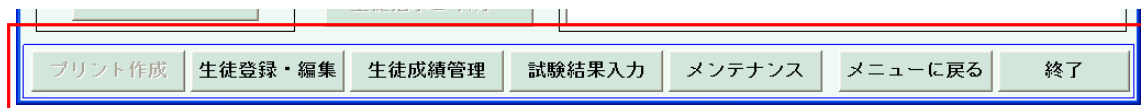


・業務内容を以下の内容から選択します。

- | | | |
|-----------|-----|--------------------------|
| ①: プリント作成 | ... | 定期試験・習熟学習のプリント作成を行います。 |
| ②: 終了 | ... | システムを終了します。 |
| ③: 成績管理 | ... | 生徒ごとの成績・WeakPointを参照します。 |
| ④: 生徒登録 | ... | 生徒情報の登録・編集・削除を行います。 |
| ⑤: 試験結果入力 | ... | 生徒が受験した試験の成績情報を登録します。 |
| ⑥: メンテナンス | ... | システムの設定、バックアップなどを行います。 |

※業務選択後、各業務画面下部のボタンからも業務を選択することができます。
(選択中の業務のボタンは押せなくなっています)

※「メニューに戻る」ボタンを押すことで、上記のメニュー画面に戻ります。



●プリント作成機能

1. プリント作成画面

・「**プリント作成**」を選択すると、以下の**プリント作成画面**に切り替わります。

トレーニング学習ナビゲーション ver1.00

プリント作成 :

1. 科目・コース選択

科目・試験種別

学年・コース

2. ページ範囲指示

ページ入力 :

3. レベル指示

基本 :
標準 : レベル結合 : ☐ する
応用 :

★問題種別選択

★WeakPoint選択

4. 表示・印刷

☒ 問題を印刷する
☐ 解答を印刷する

2. 科目・コースの選択

・「**科目・試験種別**」コンボボックスより、**試験科目**と**種別**(定期試験、習熟学習)を選択します。

トレーニング学習ナビゲーション ver1.00

プリント作成 :

1. 科目・コース選択

科目・試験種別 **英語定期試験**

学年・コース

作成する試験の科目・種別を選択します。
定期試験 :
→ 3. 定期試験教材作成: ページ範囲選択 P10
習熟学習 :
→ 5. 習熟学習教材作成: 習熟項目選択 P19

・「**学年・コース**」コンボボックスより、教科書の**学年**と**コース**を選択します。契約した教科書のみ選択可能です。
(※A、Cなどのコースコードは教科書対応表でご確認ください)

トレーニング学習ナビゲーション ver1.00

プリント作成 :

1. 科目・コース選択

科目・試験種別 **英語定期試験**

学年・コース **中1英語A**

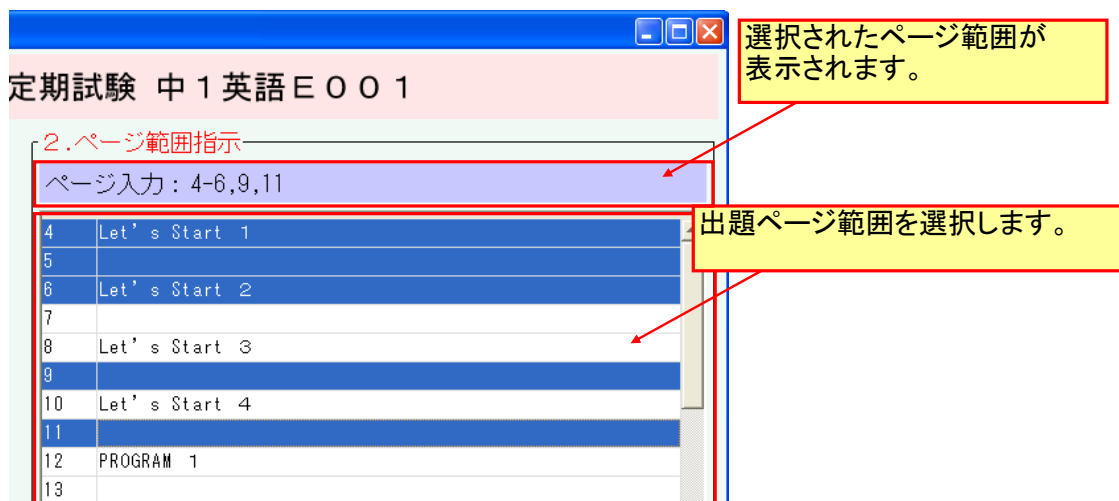
教科書の学年・コースを選択します。

・選択が完了すると、出題ページ範囲選択テーブルに指定した教科書の目次が表示されます。

※前回作業時に作成PDFの保存を行った場合、その試験と同じ科目・コースが自動的に選択された状態になります。(→試験情報の保存 P25)

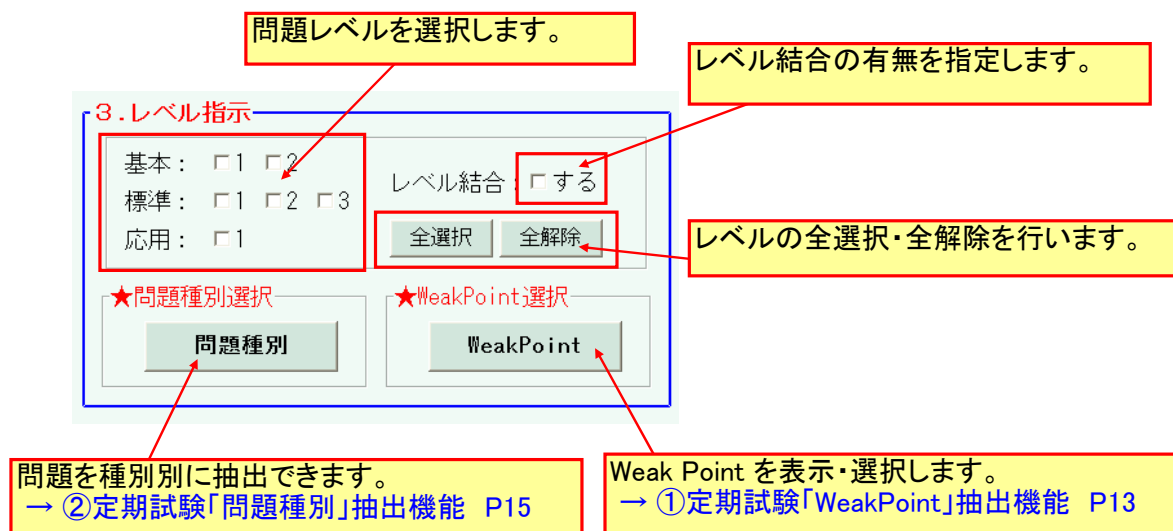
3. 定期試験教材作成: ページ範囲選択

- ・問題を出題する教科書ページ範囲を選択します。
- ・範囲選択を行う場合は、マウスの左をクリックしながら下にずらす、またはCtrlキーを押しながらマウスの左をクリックして選択します。



4. 定期試験教材作成: 問題レベル選択

- ・作成する試験の問題レベルを選択します。選択できるレベルは教科ごとに異なります。(※習熟学習の場合、レベルの選択は行いません)
- ・複数のレベルを選択した場合、選択した分の試験が作成されます。
- ・「レベル結合」チェックボックスを選択すると、選択されているレベルをまとめて1つの試験を作成します。



※レベルを選択すると、「問題種別」ボタン・「WeakPoint」ボタンはクリックできなくなります。

・レベルを選択すると、表示・印刷が可能になります。

4. 表示・印刷

☒ 問題を印刷する
☐ 解答を印刷する

表示・個別印刷
一括印刷

生徒指示と印刷へ

印刷対象を選択します。
※選択されている教科により、選択できる
内容が異なります。
→ 8. 印刷設定 各機能説明 P23

印刷方法を指定します。
→ 8. 印刷設定 各機能説明 P23

印刷する生徒名を選択します。
→ 7. 生徒指示と印刷 P21

① 定期試験「WeakPoint」抽出機能

・レベル選択時に「WeakPoint」選択ボタンをクリックします。
(※習熟学習が指定されている場合は選択できません)

★問題種別選択
問題種別

★WeakPoint選択
WeakPoint

「WeakPoint」選択ボタンをクリックします。
※習熟学習の場合は押せません

- ・WeakPoint抽出画面に切り替わります。前画面で指定したページ範囲の「WeakPoint」が表示されます。(例:国語の場合)
- ・指定したページ範囲にWeakPoint問題が存在しない場合、何も表示されません。

- ・WeakPoint一覧より、抽出するWeakPoint項目を選択します。選択方法はページ範囲選択と同様です。

※英語・数学の場合、選択したページ範囲の習熟学習項目が表示されます。

・WeakPointを選択すると、表示・印刷が可能になります。

●表示・印刷

- ☒ 問題を印刷する
- ☐ 解答を印刷する
- ☐ 説明を印刷する

表示・個別印刷

一括印刷

戻る 生徒指示と印刷へ

印刷対象を選択します。
※英語・数学の場合、「問題を印刷する」・
「解答を印刷する」のみが表示されます。
→ 8. 印刷設定 各機能説明 P23

印刷方法を指定します。
→ 8. 印刷設定 各機能説明 P23

印刷する生徒名を選択します。
→ 7. 生徒指示と印刷 P21

プリント作成画面に戻ります。

②定期試験「問題種別」抽出機能

・レベル選択時に「問題種別」選択ボタンをクリックします。

★問題種別選択

★WeakPoint選択

問題種別 WeakPoint

「問題種別」選択ボタンをクリックします。

- ・**問題種別抽出画面**に切り替わります。前画面で指定した教科の「問題種別」が表示されます。
(例:英語の場合)

トレーニング学習ナビゲーション ver1.00

プリント作成：問題種別抽出 英語定期試験 中1 英語 E O O 1

●問題種別抽出

問題種別
新出単語／意味
新出単語／スペル
新出熟語／意味
新出熟語／スペル
基本文／意味
基本文／スペル
アクセント
発音
語形変化
既習単語／意味
既習単語／スペル
既習熟語／意味
既習熟語／スペル
単語・表現の穴うめ問題
文法の選択問題
文法の穴うめ問題
文法の並べかえ問題
文法の対話文問題
文法の書きかえ問題
文法の和訳問題
文法の英訳問題
特殊な形の問題
読解問題
応用問題

●表示・印刷

☒ 問題を印刷する
☐ 解答を印刷する

表示・個別印刷
一括印刷

戻る 生徒指示と印刷へ

プリント作成 生徒登録・編集 生徒成績管理 試験結果入力 メンテナンス メニューに戻る 終了

- ・問題種別一覧より、抽出する**問題の種別**を選択します。選択方法はページ範囲選択と同様です。

●問題種別抽出

問題種別
新出単語／意味
新出単語／スペル
新出熟語／意味
新出熟語／スペル
基本文／意味
基本文／スペル
アクセント
発音
語形変化
既習単語／意味
既習単語／スペル

抽出する問題を種別を選択します。

- ・問題種別を選択すると、表示・印刷が可能になります。
- ・前の画面で指定したページ範囲内から、選択した問題種別の問題が抽出されます。

●表示・印刷

- ☒ 問題を印刷する
- ☐ 解答を印刷する

印刷対象を選択します。
※選択されている教科により、選択できる内容が異なります。
→ 8. 印刷設定 各機能説明 P23

表示・個別印刷

一括印刷

印刷方法を指定します。
→ 8. 印刷設定 各機能説明 P23

戻る **生徒指示と印刷へ**

印刷する生徒名を選択します。
→ 7. 生徒指示と印刷 P21

プリント作成画面に戻ります。

5. 定期試験:問題番号指示

※この機能は、メンテナンス業務にて「問題番号指示の使用設定」を「使用する」に設定している場合のみ使用可能です。(→メンテナンス業務 P42)

※インストール直後の状態では「使用しない」に設定されています。

- ・科目と試験種別、および学年とコースを選択すると、「問題番号指示」ボタンが選択可能になります。

※定期試験の場合のみ選択可能です。習熟学習が指定された場合は、選択できません。

1. 科目・コース選択

科目・試験種別: 英語定期試験

学年・コース: 中1英語EOO1

2. ページ範囲指示

ページ入力:

4 Let's Start 1

5

9

15

16

17

18

19

20 PROGRAM 2

21

22

3. レベル指示

基本: ☐ 1 ☐ 2

標準: ☐ 1 ☐ 2 ☐ 3

応用: ☐ 1

レベル結合: ☐ する

★問題種別選択

問題種別

★WeakP

WeakPoint

4. 表示・印刷

☒ 問題を印刷する

☐ 解答を印刷する

★問題番号指示

問題番号指示

1. コンボボックスから内容を選択します。

2. 「問題番号指示」ボタンが押せるようになります。
※メンテナンス画面で問題番号指示を「使用する」に設定していない場合、このボタンは表示されません。

- ・「問題番号指示」ボタンをクリックすると、問題番号指示画面に切り替わります。
(例: 英語の場合)

- ・「問題番号」入力欄に、抽出したい問題の**問題番号**を入力します。複数入力する場合は、1つずつカンマで区切ってください。
※問題番号は作成した定期試験教材の大問にのみ、自動的に印字されます。
(以下に例を示します)

・小問を抽出したい場合は、「小問集合」入力欄に抽出する小問の情報を指定します。
 ※試験科目に数学・理科・社会が指定されていた場合、入力を行うことができません。
 （該当科目に小問が存在しないため）

- ・「問題種別タイプ」選択コンボボックスより、抽出する小問の問題種別を選択します。
 - ・「レベル」選択コンボボックスより、抽出する小問のレベルを選択します。
 - ・「ページ範囲」入力欄に、抽出する教科書のページ範囲（始点～終点）を入力します。
 1ページからのみ抽出したい場合は、同じページ番号を入力してください。
- ※ページ範囲入力欄に入力がない場合、小問集合抽出は行われません。

●抽出する小問の「問題種別」を選択します。

※対象の問題番号をカンマで区切って入力してください。

小問集合 問題種別タイプ： 新出単語／スペル

レベル： 標準1

ページ範囲： 12 ～ 32

登録

小問とは、定期試験の問題のうち、「英語試験の読解以外の問題」、「国語試験の漢字読み書き問題」に属するものを指します。

抽出する小問の「レベル」を選択します。

抽出する小問の「ページ範囲」を指定します。
 ※範囲始点（左欄）より範囲終点（右欄）のほうが大きい数値、あるいは同じ数値になるように入力してください。

- ・「登録」ボタンを押すと、入力されている問題番号の情報が、画面右側の問題番号一覧に表示されます。
- ※小問集合抽出にて入力された内容は、9文字の小問抽出番号に変換されます。
 ※小問集合抽出と問題番号の入力を同時に行った場合、小問抽出番号が先にくるように自動で並べ替えられます。
 ※問題番号入力欄に直接、小問抽出番号を入力することもできます。

●問題番号指示

問題番号 6234,12,432,5123

※対象の問題番号をカンマで区切って入力してください。

小問集合 問題種別タイプ： 新出単語／スペル

レベル： 標準1

ページ範囲： 12 ～ 32

登録

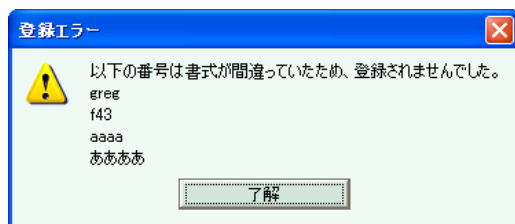
「登録」ボタンをクリックします。

問題番号一覧

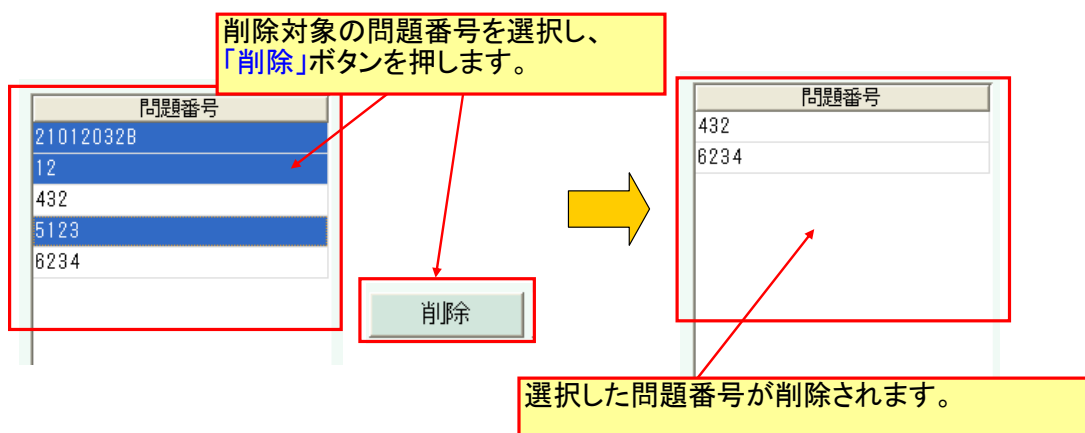
問題番号
21012032B
12
432
5123
6234

入力した内容が問題番号一覧に表示されます。
 ・小問集合抽出にて入力を行った場合、入力した内容は9文字の小問抽出番号に変換されます。
 ・小問抽出番号 → 問題番号の順に表示されます。

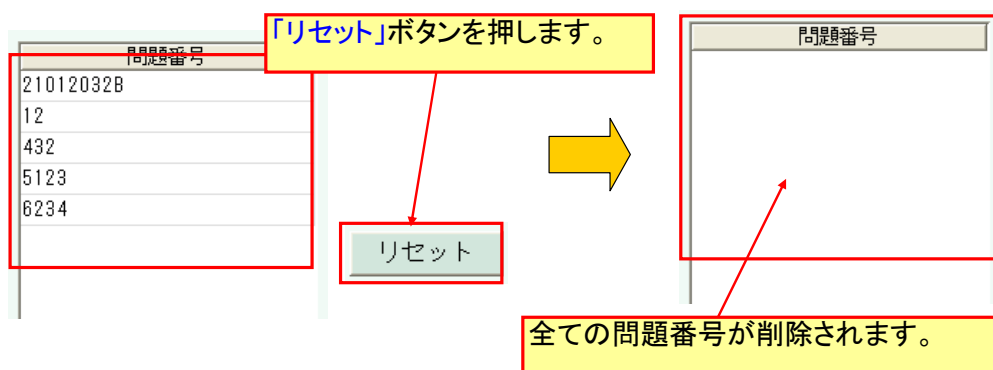
- ・「問題番号」入力欄に間違った問題番号が入力された場合、以下のダイアログが表示され、該当の問題番号は登録されません。



- ・登録した問題番号を個別に削除する場合、問題番号一覧下部の「削除」ボタンを使用します。削除したい問題番号を選択し、「削除」ボタンを押してください。（問題番号の選択方法は、ページ範囲選択と同様です）



- ・登録した問題番号を全削除する場合は、問題番号一覧下部の「リセット」ボタンを使用します。



- ・問題番号を1つ以上登録すると、表示・印刷が可能になります。
- ・登録した小問抽出番号、及び問題番号の問題を抽出し、教材を作成します。
- ※問題番号指示からプリント作成を行った場合、前の画面で指定した「ページ範囲」や「出題レベル」は無視されます。

●表示・印刷

☒ 問題を印刷する
☐ 解答を印刷する

表示・個別印刷
 一括印刷

戻る 生徒指示と印刷へ

印刷対象を選択します。
 ※選択されている教科により、選択できる内容が異なります。
 → 8. 印刷設定 各機能説明 P23

印刷方法を指定します。
 → 8. 印刷設定 各機能説明 P23

印刷する生徒名を選択します。
 → 7. 生徒指示と印刷 P21

プリント作成画面に戻ります。

6. 習熟学習教材作成: 習熟項目選択

- ・問題を出題する**習熟学習項目**を選択します。
- ・範囲選択を行う場合は、マウスの左をクリックしながら下にずらす、またはCtrlキーを押しながらマウスの左をクリックして選択します。

習熟 中1 英語 E001

2. ページ範囲指示

選択ページ: 7,9,15,17

Warm Up① P6 ~7 アルファベット
 Warm Up② P8 ~9 単語を覚えよう
 Warm Up③ P10~11 あいさつや教室で使う英語を覚えよう
 Program 1① P14~15 単語・表現
 Program 1① P14~15 基本文 (I am ~.)
 Program 1② P16~17 単語・表現
 Program 1② P16~17 基本文 (Are you ~?)
 Program 1③ P18~19 単語・表現
 Program 1③ P18~19 基本文 (This is ~.)
 Program 1 P14~19 Check Test

選択された習熟項目のページが表示されます。

出題する習熟項目を選択します。

- ・習熟項目を選択すると、問題種別抽出と表示・印刷が可能になります。
- ※習熟学習の場合、レベル選択・WeakPoint抽出・問題番号指示が使用できません。

問題を種別ごとに抽出できます。
(操作方法は定期試験の場合と同様です)

標準：
レベル結合： ☐ する
全選択 全解除

★問題種別選択
問題種別

★WeakPoint選択
WeakPoint

4. 表示・印刷
☒ 問題を印刷する
☐ 解答を印刷する

表示・個別印刷
一括印刷

生徒指示と印刷へ

印刷対象を選択します。
習熟学習では、どの教科の場合も、「問題を印刷する」「解答を印刷する」が指定できます。
→ 8. 印刷設定 各機能説明 P23

印刷方法を指定します。
→ 8. 印刷設定 各機能説明 P23

印刷する生徒名を選択します。
→ 7. 生徒指示と印刷 P21

7. 生徒指示と印刷

- ・プリント作成各画面から「生徒指示と印刷へ」ボタンをクリックすると、**生徒指示と印刷画面**に切り替わります。

トレーニング学習ナビゲーション ver1.00

プリント作成：生徒指示と印刷 英語定期試験 中1 英語A

●生徒一覧から選択

学校 学年 教室 コース リセット

ID	姓	名	学校	学年	教室	コース
1	山田	太郎	A中学	中1	1-A	コース1
2	東京	花子	B中学	中2	1-B	コース2

全選択 全解除 印刷人数 (0) 印刷枚数 (0)

●印刷設定

☒ 問題を印刷する ☐ 生徒氏名を印刷する
☐ 解答を印刷する

●表示・印刷

表示・個別印刷
一括印刷 一括印刷設定

メインに戻る 戻る

プリント作成 生徒登録・編集 生徒成績管理 試験結果入力 メンテナンス メニューに戻る 終了

- ・作成したプリントに印刷する生徒氏名を選択します。生徒一覧より、氏名を印刷したい生徒を選択してください。

※生徒一覧には、「生徒登録・編集」機能で登録した生徒が表示されます。生徒が登録されていない場合、一覧には何も表示されません。(→ 生徒登録・編集 P30)

●生徒一覧から選択

学校 学年 教室 コース リセット

ID	姓	名	学校	学年	教室	コース
1	山田	太郎	A中学	中1	1-A	コース1
2	東京	花子	B中学	中2	1-B	コース2

学校・学年・教室・コースで生徒の絞り込みができます。絞り込みを解除するときは「リセット」ボタンを押してください。

一覧から、個別に生徒の選択ができます。

全選択 全解除 印刷人数 (0) 印刷枚数 (0)

生徒の全選択、選択の全解除ができます。

印刷人数および印刷枚数を指定します。
※印刷枚数は、一度教材を作成し表示しないとカウントされません。

・生徒氏名を選択後、印刷設定を行います。

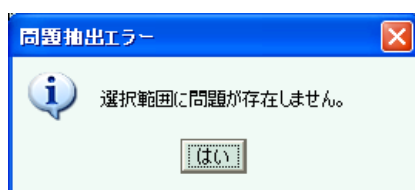
The screenshot shows the printing settings interface. On the left, under '印刷設定' (Print Settings), there are checkboxes for '問題を印刷する' (Print questions) and '生徒氏名を印刷する' (Print student names), both of which are checked. Below them is an unchecked checkbox for '解答を印刷する' (Print answers). On the right, under '表示・印刷' (Display/Print), there are buttons for '表示・個別印刷' (Display/Individual print), '一括印刷' (Batch print), and '一括印刷設定' (Batch print settings). At the bottom right, there are buttons for 'メインに戻る' (Return to main) and '戻る' (Back). Red arrows point from callout boxes to these elements:

- Callout 1 (yellow box): '印刷対象を選択します。→ 8. 印刷設定 各機能説明 P23' points to the '問題を印刷する' checkbox.
- Callout 2 (yellow box): '印刷方法を指定します。→ 8. 印刷設定 各機能説明 P23' points to the '一括印刷' button.
- Callout 3 (yellow box): 'プリント作成画面に戻ります。' points to the '戻る' button.
- Callout 4 (yellow box): '前の画面に戻ります。(戻り先は移動元の画面により異なります)' points to the 'メインに戻る' button.

※プリント作成時、以下のようなエラーが出ることがあります。

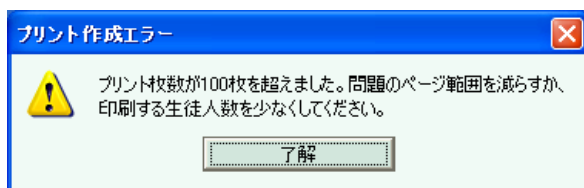
(選択した出題ページ範囲に問題が存在しない場合)

選択したページの中に抽出できる問題がありません。出題ページ範囲を広げるか、別のページに変更してください。



(作成されるプリント枚数が多すぎる場合)

作成されるプリントの枚数が多すぎるため、動作環境のPCに影響が出る可能性があります。ページ範囲・レベル数を減らす、もしくは印刷する生徒の人数を減らしてください。



8. 印刷設定 各機能説明

- ①: **問題を印刷する** チェックボックス …… 問題を印刷します。
問題の本文を印刷します。解答のみを印刷するような場合は、このチェックボックスをOffにしてください。
- ②: **解答を印刷する** チェックボックス …… 解答を印刷します。
問題の解答を印刷します。問題のみを印刷するような場合は、このチェックボックスをOffにしてください。数学のプリントの場合、このチェックボックスは「**詳解を印刷する**」に変わります。
- ③: **答えのみを印刷する** チェックボックス …… 答えのみの解答を印刷します。
数学のプリントでのみ表示されます。 詳細な解説を含まない、答えのみの解答を印刷します。
- ④: **説明を印刷する** チェックボックス …… WeakPointの説明を印刷します。
英語・数学以外のWeakPoint教材を作成する場合のみ表示されます。WeakPoint項目の説明を印刷します。「問題を印刷する」チェックボックスと同時にOnにした場合、「問題/説明」として1つの教材にまとめられます。
- ⑤: **生徒氏名を印刷する** チェックボックス …… 生徒の氏名をプリントに印刷します。
プリントに画面上部で選択した生徒の氏名などを印刷します。このチェックボックスをOnにした場合、選択した生徒の数だけプリントが印刷されることに注意してください。生徒を選択したとき、このチェックボックスは自動的にOnになります。また、**生徒の成績を管理する場合、このチェックボックスは必ずOnにしてください。**
- ⑥: **表示・個別印刷** ボタン …… 問題を画面に表示します。
印刷する場合は、問題表示画面から指示します。印刷する問題を選択することもできます。P24以降を参照してください。
- ⑦: **一括印刷** ボタン …… 指定したプリントを一括印刷します。
指定された内容で、直接プリンタに問題を印刷します。ただし、「生徒氏名を印刷する」のチェックボックスがOnの場合、この機能は使えません。
- ⑧: **一括印刷設定** ボタン …… 印刷の前に各種の設定を行うことができます。
指定された内容で、直接プリンタに問題を印刷します。印刷する前にプリンタに対する設定を行うことができます。設定内容の詳細はP27を参照してください。この機能も「生徒氏名を印刷する」のチェックボックスがOnの場合、使うことができません。

※問題表示・印刷は**Adobe Reader**で行います。

※PC電源を入れ初めて問題表示をする場合「Adobe Reader」が立ち上がるまでの間、少し時間がかかります。一度立ち上がれば早く表示するようになります。

9. 問題表示・印刷

- ・「表示・個別印刷」ボタンをクリックすると、プリントが作成され、以下の問題表示画面が表示されます。
- ※プリントの作成中は、画面を操作することができません。
- ※お使いのAdobeReaderのバージョンにより、プリントの表示形式が多少異なることがあります。

定期試験 中1 英語
基本1

教科書 p. 5-25 学習日 9 月 27 日

名 前 山田太郎 得点 / 251点

1 次の英語を日本語に直しなさい。(各1点)

(1) we	_____	(2) about	_____
(3) enough	_____	(4) pardon	_____
(5) idea	_____	(6) I	_____
(7) am	_____	(8) hello	_____
(9) program	_____	(10) too	_____
(11) yes	_____	(12) not	_____
(13) international	_____	(14) student	_____
(15) a	_____	(16) same	_____
(17) an	_____	(18) no	_____
(19) friend	_____	(20) this	_____
(21) my	_____	(22) soccer	_____
(23) is	_____	(24) fan	_____
(25) hi	_____	(26) please	_____
(27) guitar	_____	(28) team	_____
(29) way	_____	(30) it	_____
(31) favorite	_____	(32) that	_____
(33) baseball	_____	(34) sister	_____
(35) he	_____	(36) brother	_____
(37) cute	_____	(38) she	_____
(39) player	_____	(40) on	_____
(41) ball	_____	(42) really	_____
(43) oh	_____	(44) thing	_____
(45) what	_____	(46) Japanese	_____
(47) chess	_____	(48) pen	_____
(49) her	_____	(50) ruler	_____
(51) eraser	_____	(52) his	_____
(53) OK	_____	(54) book	_____
(55) today	_____	(56) very	_____

- ・「表示選択」エリアにて、表示されているプリントを変更できます。
- ・「レベル」および「問題・解答」コンボボックスより、表示したいプリントを選択してください。

●表示選択

レベル: 基本1

問題・解答: 問題

試験ID: 4

問題数 (3)

ページ数 (4)

総ページ数 (4)

生徒数 (1)

表示するプリントのレベルを指定します。

表示するプリントの種別(問題・解答・説明など)を指定します。

現在表示されているプリントの情報が表示されます。
試験IDはレベル順に自動で採番されます。

作成した全てのプリントのページ数の合計が表示されます。
また、印刷する生徒数也表示されます。

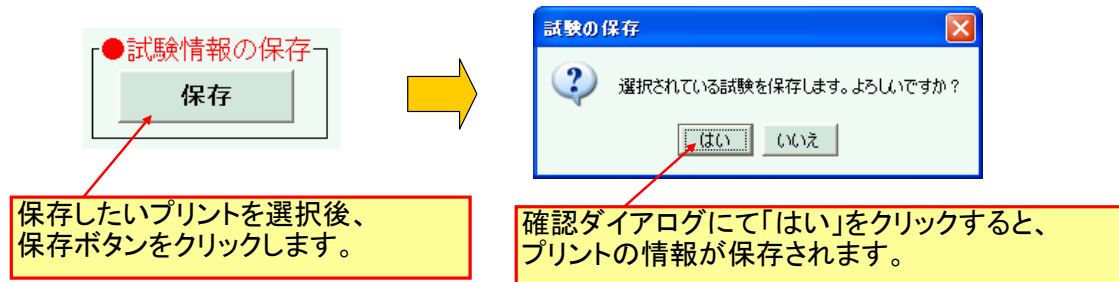
・「保存」ボタンにて、プリントを試験のレベルごとに保存できます。

※「試験結果登録」・「成績管理機能」を使用する場合、必ずこの処理が必要になります。
保存されていないプリントは、成績管理を行うことができません。

※生徒が選択されていない場合、保存は行えません。（保存ボタンが押せなくなります）

・保存したいプリントを選択し、「保存」ボタンをクリックすると、以下の確認ダイアログが表示されます。「はい」をクリックすると、プリントの情報が保存されます。

※一度保存したプリントを再度保存する場合、既に保存した情報が上書きされます。



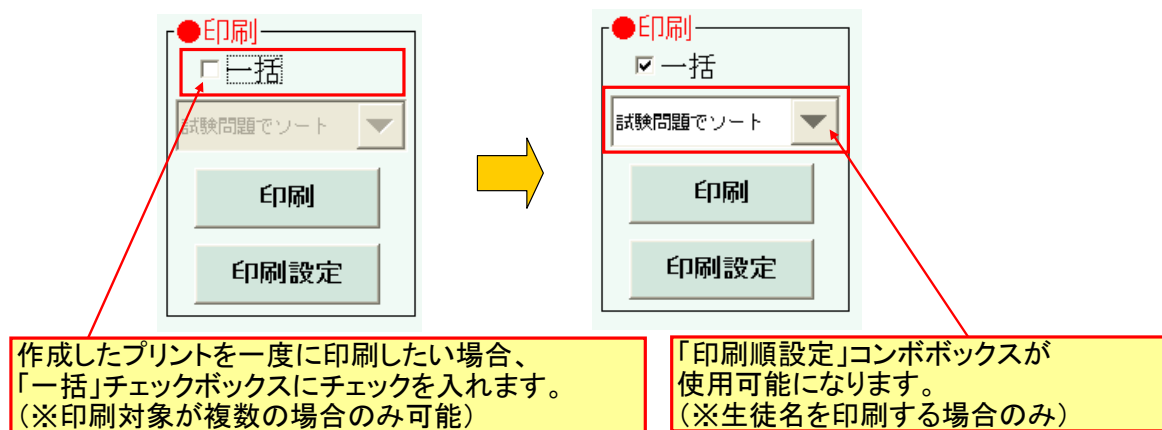
・「一括」チェックボックスにて、全ての試験を印刷するよう指定できます。

・このチェックボックスをOnにすると、全ての問題および(解答の印刷を指定した場合)解答を一括して印刷します。このチェックボックスは、印刷するプリントが一つだけの場合は選択できません。

・このチェックボックスをOnにすると、下の「印刷順設定」コンボボックスが選択可能になります。ただし、以下の場合印刷順設定コンボボックスが無効になります。

※①: 生徒指示と印刷画面で「生徒氏名を印刷する」が On になっていない場合

※②: 生徒指示と印刷画面で生徒が一人も選択されていない場合



・この「印刷順設定」コンボボックスでは以下の印刷順が指定できます。インストールした直後の初期値は「試験→生徒の順で印刷」ですが、これは「メンテナンス業務」の「印刷設定情報」で変更できます。(→メンテナンス業務 P42)

(1) 「試験→生徒の順で印刷」

試験(レベル)毎にまとめて印刷します。

(2) 「生徒→試験の順で印刷(解答は一部のみ)」

生徒毎にまとめて印刷します。解答は一部のみ印刷されます。

(3) 「生徒→試験の順で印刷(解答を全てに添付)」

生徒毎にまとめて印刷します。解答は全ての試験に続けて印刷されます。

※次ページに具体的な例を挙げます。

例：定期試験で「基本1」「標準1」の2レベルを指定。生徒指示と印刷画面で「解答を印刷」チェックボックスをOnにして、「生徒1」「生徒2」「生徒3」を選択した場合、以下の順番で印刷されます。

(1) 「試験→生徒の順で印刷」

- ① 基本1：生徒1
- ② 基本1の解答
- ③ 基本1：生徒2
- ④ 基本1の解答
- ⑤ 基本1：生徒3
- ⑥ 基本1の解答
- ⑦ 標準1：生徒1
- ⑧ 以下、標準1で②～⑦と同じ

(2) 「生徒→試験の順で印刷(解答は一部のみ)」

- ① 基本1：生徒1
- ② 標準1：生徒1
- ③ 基本1：生徒2
- ④ 標準1：生徒2
- ⑤ 基本1：生徒3
- ⑥ 標準1：生徒3
- ⑦ 基本1の解答
- ⑧ 標準1の解答

(3) 「生徒→試験の順で印刷(解答を全てに添付)」

- ① 基本1：生徒1
- ② 基本1の解答
- ③ 標準1：生徒1
- ④ 標準1の解答
- ⑤ 基本1：生徒2
- ⑥ 基本1の解答
- ⑦ 標準1：生徒2
- ⑧ 標準1の解答
- ⑨ 以下、生徒3で⑤～⑧と同じ

注意事項：印刷設定画面で「解答を印刷する」(数学の場合)「答えのみを印刷する」を指定しなければ、印刷順指定リストボックスで「生徒→試験の順で印刷(解答は一部のみ)」や「生徒→試験の順で印刷(解答を全てに添付)」を指定しても**解答は印刷されません**。ご注意ください。

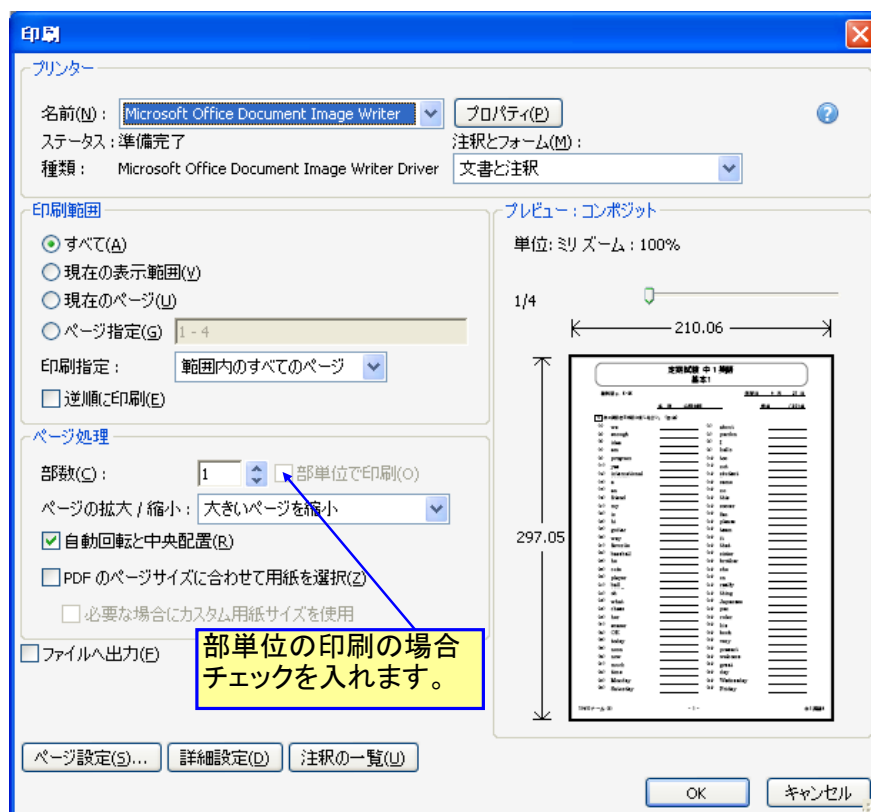
- ・「印刷」ボタンで、指定したプリントを1セット一括印刷します。
- ・「印刷設定」ボタンで、印刷前に印刷方法の設定をすることができます。

※「プリンタ・プロパティ」で印刷の設定をし、印刷します。

設定方法(例)



下記画面で印刷設定をします。
(プリンタにより表示は異なります)

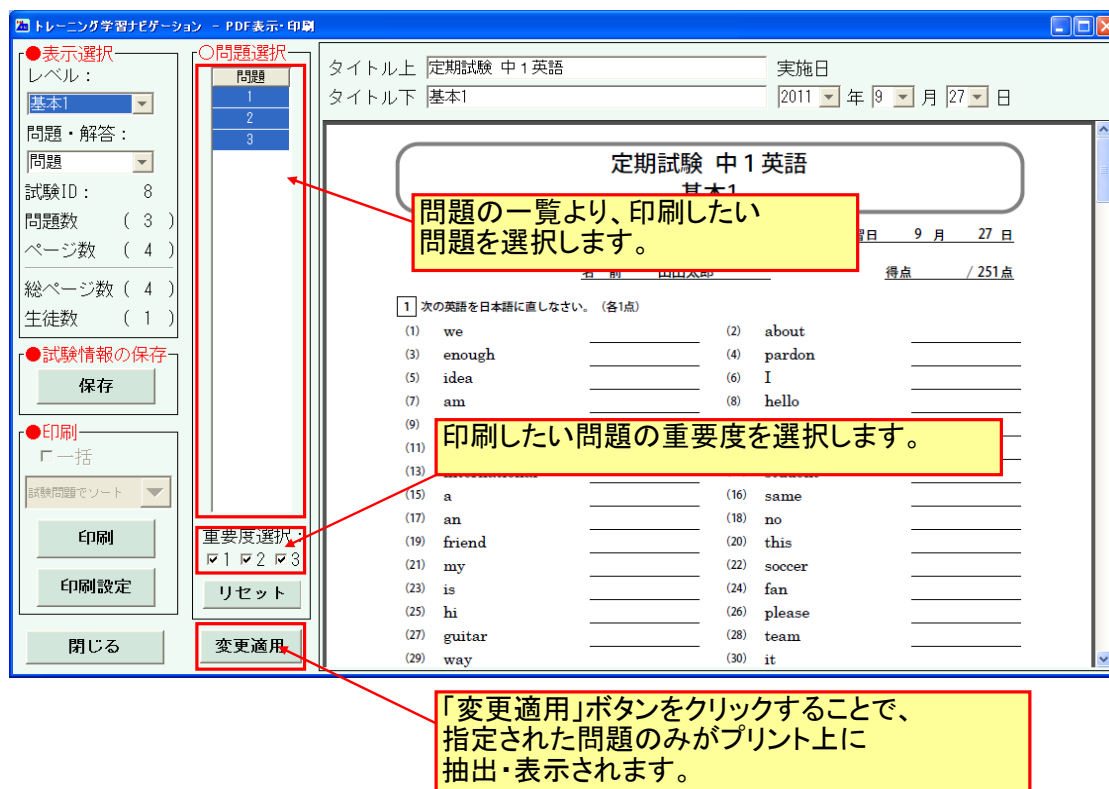


※「Adobe Reader」取り扱い方法は、Adobe Reader のヘルプで確認してください。

・「問題選択」から、印刷する問題数を調整することができます。
 ※「習熟学習」「WeakPoint」の試験の場合、項目ごとの印刷となるため、問題選択は行えません。

(問題一覧から選択する方法での問題選択)
 「問題」に表示されている番号のうち、印刷したい問題をCtrl キーを押しながらクリックします。
 次に「変更適用」ボタンを押します。問題が選択され表示されます。

(重要度から選択する方法での問題選択)
 「重要度選択」チェックボックスの中から、重要度(1～3)を選択します(複数選択可)。
 次に「変更適用」ボタンを押します。問題が選択され表示されます。
 ※選択された問題の中に、指定の重要度の問題が存在しない場合、問題は表示されません。



※問題選択機能は、習熟・WeakPoint教材作成を行う場合は使用できません。

・「リセット」ボタンを押すことで、問題の選択状態を初期化し、プリント上に全ての問題が再表示されます。

注意事項: 生徒ごとの印刷の場合、プリンタを両面印刷・割り振り印刷などに設定している場合は、メンテナンス画面の「両面印刷設定」の設定をしてください。(P42)

- ・プリントのタイトルを変更する場合、「タイトル上」入力欄・「タイトル下」入力欄を使用します。
- ・各欄に新しいタイトルを入力し、「変更適用」ボタンを押すことで、プリントに新しいタイトルが反映されます。
- ・試験の実施日は、タイトル入力欄右側のコンボボックスから変更します。年・月・日を選択し、「変更適用」ボタンを押すことで、プリントに新しい実施日が反映されます。
- ※実施日のうち、年・月・日のいずれかを空白に設定した場合、実施日は登録されません。
- ※指定したタイトルと実施日は、**現在選択されている試験に反映されます**。複数の試験のタイトル・実施日を変更する場合、**試験ごとに指定し、変更適用を行ってください**。

(例:タイトルと実施日の変更)

タイトル上 定期試験 中1英語 第2回

タイトル下 基本1 追試

実施日 2011 年 11 月 31 日

定期試験 中1英語 第2回
基本1 追試

教科書 p. 5-25

学習日 9 月 27 日

変更適用

タイトル上 定期試験 中1英語 第2回

タイトル下 基本1 追試

実施日 2011 年 11 月 31 日

定期試験 中1英語 第2回
基本1 追試

教科書 p. 5-25

学習日 11 月 31 日

- ・問題表示画面を終了する場合は、画面左下の「閉じる」ボタンをクリックするか、画面右上の×ボタンをクリックします。

※情報を保存していない試験がある場合、そのまま閉じてしまうと情報が保存されないので注意してください。

●生徒登録・編集機能

1. 生徒登録・編集画面

・「**生徒登録**」を選択すると、以下の**生徒登録・編集画面**に切り替わります。

※インストール直後の状態では、生徒が登録されていないため、一覧には何も表示されません。

2. 生徒の新規登録

- ・新規に生徒を登録する場合、「**生徒情報表示・入力**」エリアがクリアされている状態(IDが表示されていない状態)で、各情報を入力します。既に登録された内容は、コンボボックスから選択できます。
- ・「**保存**」ボタンをクリックすると、入力した内容が登録されます。(IDは自動的に割り振られます)

※**氏名の入力**は必須です。どちらか一方でも入力されていない場合、登録できません。
※「学年」コンボボックスは、キーボード入力が行えません。

3. 生徒情報の編集・削除

- ・既に登録済みの生徒の情報を編集・削除する場合、**生徒一覧**から編集対象の生徒を選択します。操作方法は「生徒指示と印刷」画面の生徒選択と同様です。

学校・学年・教室・コースで生徒の絞り込みができます。

●生徒一覧

学校 学年 教室 コース リセット 生徒人数: 2人

ID	姓	名	学校	学年	教室	コース
1	山田	太郎	A中学	中1	1-A	コース1
2	東京	花子	B中学	中2	1-B	コース2

登録されている全生徒の人数が表示されます。

●生徒情報表示・入力

ID 1

氏 名 山田 太郎

学 校 A中学

学 年 中1

教 室 1-A

コース コース1

保存 削除 クリア

生徒一覧から生徒を選択すると、生徒情報表示・入力エリアに選択した生徒の情報が表示されます。

- ・各情報を入力し、「**保存**」ボタンを押すことで、生徒の情報が上書きされます。
- ・選択した生徒の情報を削除する場合は、「**削除**」ボタンを押します。確認ダイアログで「はい」を選択すると、生徒の情報が削除されます。
※一度削除した生徒情報は元に戻せませんので注意してください。
※生徒情報の保存や削除を行うと、生徒一覧の絞り込み状態が解除されます。
- ・生徒選択中に「**クリア**」ボタンを押すと、**入力エリアが初期化され、新規登録が可能になります。**

●試験結果入力機能

1. 試験結果入力画面

- ・「試験結果入力」を選択すると、以下の試験結果入力画面に切り替わります。

トレーニング学習ナビゲーション ver1.00

試験結果入力 (WeakPoint抽出)

●試験選択

科目・試験種別
[Dropdown]

学年・コース
[Dropdown]

実施日	試験ID	試験名
-----	------	-----

●誤答問題選択

誤答	問題	WeakPoint
----	----	-----------

●受験者選択

ID	姓	名	点数
----	---	---	----

戻る

採点結果 [0.0] 点 リセット 結果登録 WPT印刷

プリント作成 生徒登録・編集 生徒成績管理 試験結果入力 **メンテナンス** メニューに戻る 終了

※試験結果入力機能を使用する場合、「生徒名」を入れてプリント作成し、そのプリントを「保存」しておきます。

2. 試験結果の登録

- ・試験結果を登録する試験を選択します。「科目・試験種別」コンボボックスより対象試験の科目、「学年・コース」コンボボックスより試験の学年と教科書のコースを選択してください。
※「学年・コース」コンボボックスには、契約している教科書のコースのみ表示されます。
※「習熟学習」・「WeakPoint」の試験は、点数が存在しないため、採点が行えません。
- ・保存された試験の一覧が表示されます。指定した科目と学年・コースに属する試験が保存されていない場合、何も表示されません。

●試験選択

科目・試験種別
英語定期試験

学年・コース
中1 英語 A

実施日	試験ID	試験名
2011/9/27	4	定期試験 中1 英語 基本1

コンボボックスより試験を指定します。

保存された試験が表示されます。

- ・表示された試験の中から、結果登録を行う試験を選択します。選択すると、「受験者選択」エリアに該当試験を受験した生徒の一覧(プリント作成時に選択した生徒)が表示されます。

学年・コース
中1 英語 A

実施日	試験ID	試験名
2011/9/27	4	定期試験 中1 英語 基本1

一覧より結果登録を行う試験を選択します。

●受験者選択

ID	姓	名	点数
1	山田	太郎	

選択した試験を受験した生徒の一覧が表示されます。

- ・表示された生徒の中から、採点対象の生徒を選択します。選択すると、「誤答問題選択」エリアに試験の問題一覧が表示されます。また、「採点結果」ボタン・「リセット」ボタン・「結果登録」ボタン・「WPT印刷」ボタンがクリック可能になります。

●受験者選択

ID	姓	名	点数
1	山田	太郎	

生徒一覧より採点対象の生徒を選択します。

●誤答問題選択

誤答	問題	WeakPoint
☐	1	
☐	2	
☐	3	

試験の問題一覧が表示されます。

- ・問題一覧より、**誤答した問題のチェックボックスをクリック**します。対象が**小問集合**（英語試験の読解以外の問題、国語試験の漢字読み書き問題）に属する場合、チェックボックスをクリックすることで更に**小問の一覧**が表示されます。

※小問集合の場合、表示された小問一覧（1-1、2-3など）のチェックボックスにチェックをしない限り、誤答問題としてカウントされませんので注意してください。

- ・「**採点結果**」ボタンを押すことで、「**試験の総合計点** - **誤答した問題の合計得点**」が**得点入力欄**に表示されます。（誤答チェックボックスが1つもチェックされていない場合は満点が表示されます）

※得点を自分で入力する場合は、得点入力欄右側の上下ボタンで加減算を行うか、キーボードから数値を入力してください。（0点以下、あるいは総合計点以上になる入力はいけません）

●誤答問題選択

誤答	問題
☒	1 - 1
☐	1 - 2
☒	1 - 3
☐	1 - 4
☐	1 - 5
☒	1 - 6
☐	1 - 7
☐	1 - 8
☒	1 - 9
☐	1 - 10
☐	1 - 11
☐	1 - 12
☐	1 - 13
☐	1 - 14
☐	1 - 15
☐	1 - 16
☐	1 - 17
☐	1 - 18
☐	1 - 19
☐	1 - 20
☐	1 - 21

誤答した問題のチェックボックスにチェックします。
小問集合のチェックボックスである場合は、チェックすることで小問の一覧が表示されます

この部分が小問一覧です。

採点結果 248 点 リセット 結果登録 WPT印刷

「採点結果」ボタンをクリックすると、試験の得点が算出されます。
※初期値は0が設定されています。

- ・「**リセット**」ボタンを押すと、誤答チェックボックスのチェックが全て解除され、小問の一覧が全て非表示に戻ります。（小問一覧が表示されていた場合のみ）

- ・「**結果登録**」ボタンを押すことで、試験の**誤答情報**および**採点結果**が**データベースに保存**されます。保存された情報は、**生徒成績管理画面**から参照することができます。
（→生徒成績管理 P37）

※結果登録を行うと、問題一覧のチェック状態がリセットされた状態になります。

- ・WeakPoint問題が設定された問題の誤答チェックボックスにチェックした場合、「**WPT印刷**」ボタンを押すことで対象のWeakPoint教材を印刷することができます。
（→3. 誤答問題のWeakPoint印刷 P35）

3. 誤答問題のWeakPoint印刷

・試験の問題にWeakPoint問題が設定されていた場合、問題一覧に対象のWeakPoint項目が表示されます。(例:理科の場合)

※英語・数学の場合は習熟学習項目が表示されます。

・WeakPoint項目が表示されている問題の誤答チェックボックスにチェックし、「WPT印刷」ボタンを押すことで、対象のWeakPoint教材を表示・印刷することができます。

※「WPT印刷」ボタンをクリックし、WeakPoint教材の表示を行うと、同時に試験の採点結果もデータベースに保存されます。

●誤答問題選択

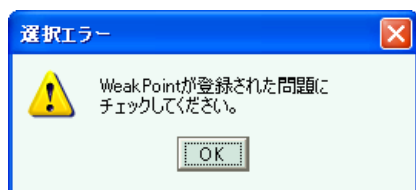
誤答	問題	WeakPoint
☒	1	⇒WPT1101 光の反射, 1102 光の屈折と全反射
☒	2	⇒WPT1103 凸レンズと実像・虚像
☒	3	⇒WPT1105 音の正体と速さ
☐	4	⇒WPT1101 光の反射, 1102 光の屈折と全反射
☐	5	⇒WPT1102 光の屈折と全反射
☐	6	⇒WPT1103 凸レンズと実像・虚像

問題に設定されたWeakPoint項目が表示されます。
(複数表示されることもあります)

WeakPoint項目が表示された問題の
チェックボックスにチェックし、「WPT印刷」
ボタンをクリックします。

採点結果 点 リセット 結果登録 WPT印刷

※WeakPoint項目が設定された問題の誤答チェックボックスにチェックがされていない場合は、以下のダイアログが表示され、WeakPoint印刷を行うことができません。



- ・「WPT印刷」を実行すると、対象のWeakPoint教材のプリントが表示され、印刷可能になります。

トレーニング学習ナビゲーション - PDF表示・印刷

Weak Point Training

学習日 9 月 20 日
名 前 山田太郎

1101 光の反射

1

次の問いに答えなさい。

- (1) 太陽や電球のように、自ら光を出すものを何というか。 []
- (2) 光が空気・水・ガラスなどの中をまっすぐ進むことを、光の何というか。 [光の]
- (3) 光が鏡などの表面に当たってはね返ることを、光の何というか。 [光の]
- (4) 鏡などに物体がうつって見えているすがたを、その物体の何というか。 []
- (5) 右の図は、鏡に当たってはね返る光の道すじを表している。
① A, Bの角度をそれぞれ何というか。
A [] B []
② AとBの角度の関係はどうなっているか。ア～ウから選びなさい。
ア $A < B$ イ $A = B$ ウ $A > B$ []
- (6) 鏡にうつっている手の先を見ているときの、手で反射された光の進み方として正しいのは、次のア～ウのどれか。 []

ア  イ  ウ 

閉じる 印刷実行 印刷設定

- ・「印刷実行」ボタンで、表示されているWeakPoint教材を一括印刷します。
- ・「印刷設定」ボタンで、印刷前に印刷方法の設定をすることができます。
- ・「閉じる」ボタンで、プリント表示画面を閉じます。

※「閉じる」「印刷実行」「印刷設定」の各ボタンの機能は、プリント作成機能の問題表示画面の「閉じる」「印刷」「印刷設定」の各ボタンの機能と同じです。P27を参照してください。

●生徒成績管理機能

1. 生徒成績管理画面

- ・「成績管理」を選択すると、以下の**生徒成績管理画面**に切り替わります。

※成績管理機能を使用する場合は、試験結果入力にて試験の採点・保存を行ってください。

2. 生徒ごとの成績の検索・参照

- ・生徒一覧より、成績を検索・参照する生徒を選択します。操作方法は「生徒指示と印刷」画面の生徒選択と同様です。

学校・学年・教室・コースで生徒の絞り込みができます。

- ・生徒を選択すると、「試験一覧」タブにその生徒が受験した試験情報の一覧を表示します。
- ※試験の採点を行っていない場合、点数の欄には何も表示されません。
- ※「習熟学習」・「WeakPoint」の試験は、採点が行えないため、満点と点数が表示されません。

試験一覧 WeakPoint履歴

試験ID	試験名	実施日	問題数	ページ	満点	点数
4	定期試験 中1英語 基本I	2011/9/27	3	7-22	251	247
5	定期試験 中1理科 標準I	2011/9/27	6	5-22	48	42
6	習熟 中1英語 習熟	2011/9/27	3	9,10,11,12		
7	定期試験 中1理科 Weak Point	2011/9/27	3	5-20		

生徒が受験した試験の一覧が表示されます。

- ・「WeakPoint履歴」タブをクリックすると、選択中の生徒に対して出力したWeakPoint項目の一覧が表示されます。

試験一覧 WeakPoint履歴

試験ID	試験名	WPT項目	WPT出力日	出力設定	印刷済
4	定期試験 中1理科 標準I	1101 光の反射		☐	☐
4	定期試験 中1理科 標準I	1102 光の屈折と全反射		☐	☐

生徒が誤答した問題に対するWeakPoint項目の一覧が表示されます。

☐ 解答を印刷
 ☐ 解説を印刷

3. WeakPoint再印刷

- ・「WeakPoint履歴」タブに生徒のWeakPoint一覧が表示された状態で、「出力設定」のチェックボックスにチェックし、「再印刷」をクリックすると、選択したWeakPointの教材を再印刷できます。

試験一覧 WeakPoint履歴

試験ID	試験名	WPT項目	WPT出力日	出力設定	印刷済
4	定期試験 中1理科 標準I	1101 光の反射		☒	☐
4	定期試験 中1理科 標準I	1102 光の屈折と全反射		☐	☐

☒ 解答を印刷
 ☐ 解説を印刷

前回WeakPoint を出力した日付が表示されます。
 ※該当するWeak Pointの印刷・表示を行っていない場合、表示されません。

この画面から Weak Point を印刷する場合、チェックボックスをOn にします。

既に出力したWeak Point は ■が表示されます。

クリックすると、全ての行のチェックボックスがOn になります。

On にすると、それぞれWeak Point の解答・解説を一緒に印刷します。

クリックすると、チェックボックスがOn になっているWeak Pointを再度印刷します。

- ・前のページの状態で、「再印刷」ボタンをクリックすると、チェックされたWeakPoint教材が表示されます。(操作方法は試験結果入力画面の「WPT印刷」と同様です)

トレーニング学習ナビゲーション - PDF表示・印刷

Weak Point Training

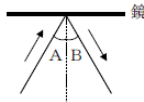
学習日 9 月 20 日
名 前 山田太郎

1101 光の反射

1

次の問いに答えなさい。

- (1) 太陽や電球のように、自ら光を出すものを何というか。 []
- (2) 光が空気・水・ガラスなどの中をまっすぐ進むことを、光の何というか。 [光の]
- (3) 光が鏡などの表面に当たってはね返ることを、光の何というか。 [光の]
- (4) 鏡などに物体がうつって見えているすがたを、その物体の何というか。 []
- (5) 右の図は、鏡に当たってはね返る光の道すじを表している。
① A, Bの角度をそれぞれ何というか。
A [] B []
② AとBの角度の関係はどうなっているか。ア〜ウから選びなさい。
ア $A < B$ イ $A = B$ ウ $A > B$ []
- (6) 鏡にうつっている手の先を見ているときの、手で反射された光の進み方として正しいのは、次のア〜ウのどれか。 []



ア イ ウ

閉じる 印刷実行 印刷設定

- ・上記の再印刷画面を表示した後、WeakPoint一覧は次のようになります。

試験一覧 WeakPoint履歴

試験ID	試験名	WPT項目	WPT出力日	出力設定	印刷済
4	定期試験 中1理科 標準I	1101 光の反射	2011/09/29	☐	☒
4	定期試験 中1理科 標準I	1102 光の屈折と全反射		☐	☐

全てをチェック
☒ 解答を印刷
☐ 解説を印刷
 再印刷

WeakPoint出力日が今日の日付になります。

出力したWeak Point に ■が表示されます。

●メンテナンス業務

1. 環境設定

- ・「メンテナンス」を選択すると、以下のメンテナンス画面に切り替わります。
 - ・「環境設定」タブを選択すると、環境設定機能を使用できます。各設定を変更し、「適用」ボタンをクリックすることで、選択した設定が適用されます。
- ※「適用」ボタンを押さない限り、設定した内容が反映されないので注意してください。

- ・「Adobe Reader」入力エリアにて、Adobe Reader のソフトインストール先 ([acroRd32.exeが存在するディレクトリ](#)) を指定します。(初期状態ではバージョン10.0が指定されています)
- ・「インストールディレクトリ」入力欄に直接インストール先のディレクトリを入力するか、「参照」ボタンでディレクトリを選択してください。

※設定がされていないと問題表示や印刷が正しく行えません。

- ・特に設定を行っていない場合、Adobe Readerは以下の場所にインストールされています。

C:\Program Files\Adobe\Reader 10.0\Reader

※赤字の部分のディレクトリ名称は、お使いのAdobe Readerのバージョンによって異なります。
※8.0以前のバージョンでは、正常に動作しないことがあります。

- ・「ヘッダー・フッター情報」入力エリアより、メニュー画面に表示される塾名および試験のタイトル・ヘッダー・フッターに印刷される内容を指定できます。
- ・タイトル(上下)・フッター(左右)入力欄に、印刷する内容を入力します。入力欄の右に記載された記号を入力することで、作成した試験ごとの情報が表示されるようになります。

塾名を入力します。ここで入力した内容は、メニュー画面と試験のヘッダー・フッター（塾名を表示する指定をした場合のみ）に表示されます。

表示する情報を指定する変換記号一覧です。

ヘッダー・フッター情報		記号説明
塾名	TNゼミナール (&a)	&a: 塾名
タイトル上	定期試験 中1 英語 = &b &d&c	&b: 試験種別
タイトル下	標準1 = &f	&c: 科目
フッター左	TNゼミナール (1) = &a (&g)	&d: 学年
フッター右	中1 英語A = &d&c&e	&e: コース
		&f: レベル
		&g: 試験ID

タイトル・フッターの表示例です。

ここに入力した内容が、試験のタイトルとフッターに表示されます。右の記号を入力すると、作成した試験ごとの情報が表示できます。

※上の図の設定でプリントの作成を行うと、以下のように表示されます。（英語・基本1の場合）
※記号で入力した部分は、その試験の情報に置換されます。

（タイトル部分）

教科書 p. 5-25	タイトル上 定期試験 中1 英語 タイトル下 基本1	学習日 9 月 27 日
-------------	---	--------------

（フッター部分）

(9) take a bath	フッター左	フッター右
TNゼミナール (8)	1 -	中1 英語A

- ・印刷される問題(小問)の行間を調整する場合、「**行間ピッチ**」設定コンボボックスから選択します。標準(初期値)、標準の1.1～1.5倍の中から選択できます。
- ・プリント作成機能の**問題番号指示機能**を使用する場合、「**問題番号指示**」設定コンボボックスから使用可否を設定します。(初期状態では「使用しない」に設定されています)
- ・「**印刷順**」設定コンボボックスより、プリント作成における**印刷順の初期値**を設定できます。(初期状態では「試験問題でソート」に設定されています)
- ・「**両面印刷調整**」コンボボックスより、**片面/両面印刷時のプリント枚数の調整**ができます。「両面印刷」にすると、問題および解答の印刷ページ数が奇数になった場合、空白のページを付け加えます。(初期状態では「片面印刷」に設定されています)

The screenshot shows a settings window with four main sections, each with a callout box:

- 小問での行間設定**: A dropdown menu for '行間ピッチ' (Line Pitch) is set to '標準' (Standard). Callout: 小問の行間を設定します。
- 問題番号指示の使用設定**: A dropdown menu for '問題番号指示' (Problem Number Indication) is set to '使用しない' (Do not use). Callout: 問題番号指示機能の使用設定をします。
- 印刷設定情報**: A dropdown menu for '印刷順' (Printing Order) is set to '試験問題でソート' (Sort by test questions). Callout: プリント作成における印刷順の初期値を設定します。
- 両面印刷調整**: A dropdown menu for '両面印刷調整' (Double-sided printing adjustment) is set to '片面印刷' (Single-sided printing). Callout: 両面印刷時のプリント枚数を調整できます。

- ・「お知らせ情報の管理」エリアより、お知らせ情報の削除・再取得が行えます。

The screenshot shows the 'お知らせ情報の管理' (Management of Notice Information) section with two buttons: '削除' (Delete) and '再取得' (Re-acquire). Callouts explain their functions:

- 削除**: 取得済みのお知らせ情報を削除します。
- 再取得**: トレナビサーバーより全てのお知らせ情報を再取得します。

- ・「**削除**」ボタンをクリックすると、以下のダイアログが表示されます。削除する基点の日付(全て削除する場合は0)を入力し、「削除」をクリックすることで、**指定日付以前のお知らせ情報が削除**されます。(メニュー画面に表示されなくなります)

The dialog box titled 'お知らせ情報の削除' (Delete Notice Information) contains the following text and controls:

指定した日付以前(365日前まで)のお知らせ情報を削除します。
 ※全てのお知らせ情報を削除する場合は0を指定してください。

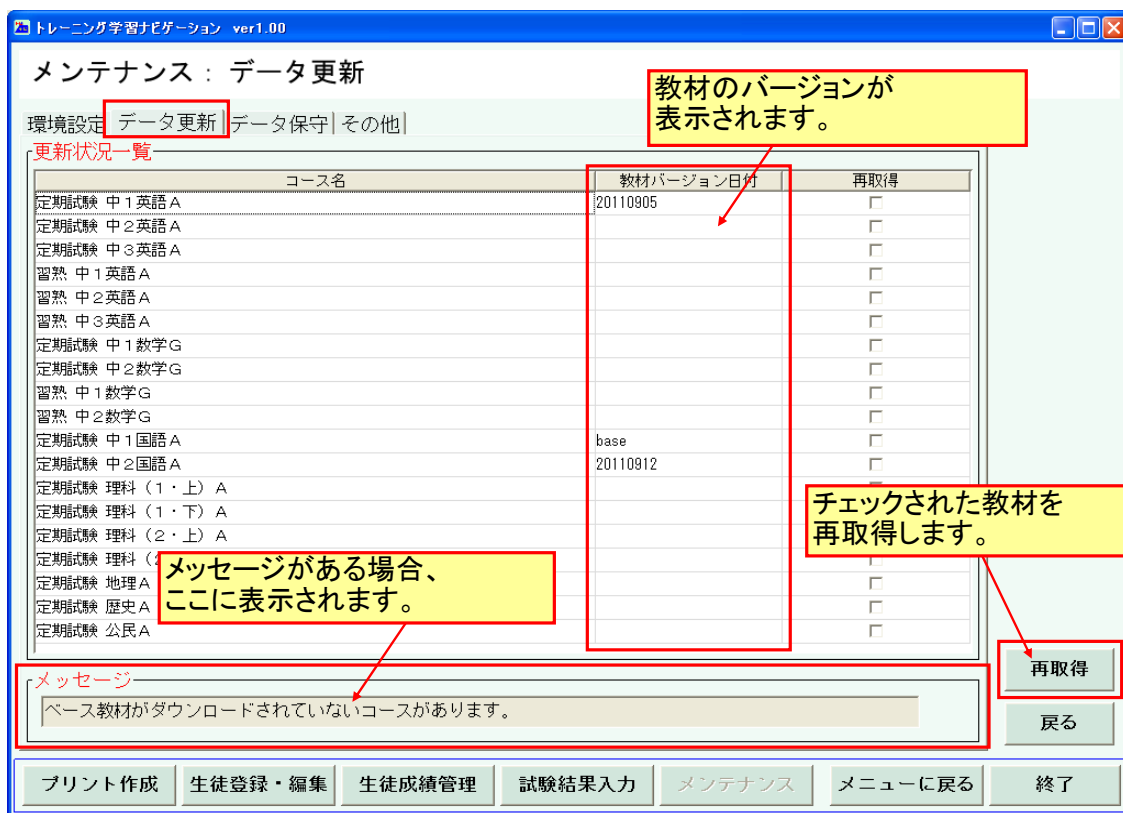
Input field: 日付 日前以前のお知らせ情報を削除

Buttons: 削除 (Delete), キャンセル (Cancel)

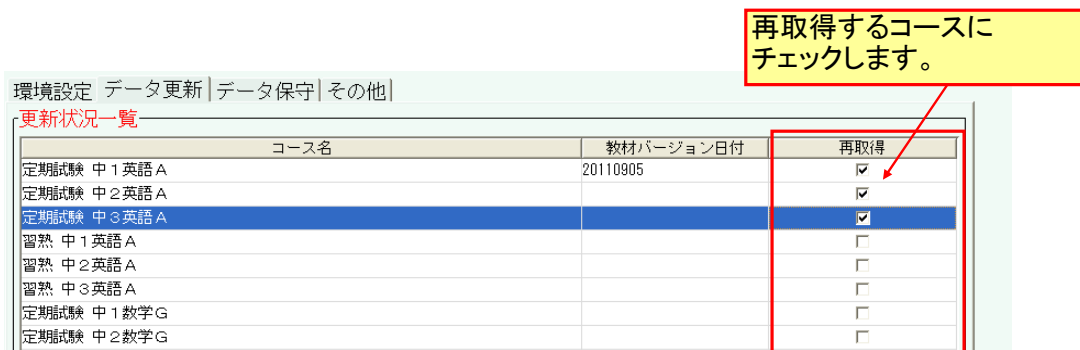
- ※**削除したお知らせ情報は元に戻せません**。必要な場合は、「**再取得**」ボタンよりお知らせ情報の再取得を行ってください。
- ※**お知らせ情報を再取得するためには、トレナビサーバーへの接続が必要です**。

2. データ更新

- ・「データ更新」タブを選択すると、教材のバージョン更新機能を使用できます。



- ・更新状況一覧に、現在契約している教科書のコースと教材バージョンが表示されています。バージョンに「base」と表示されているものは、該当する教材の初期データ(ベース教材)です。
- ・何らかの理由で教材がダウンロードされていない場合、バージョンは表示されません。(メッセージに「ベース教材がダウンロードされていないコースがあります」と表示されます)
- ・教材の再取得を行う場合、対象コースの「再取得」チェックボックスにチェックします。
- ・「再取得」ボタンをクリックすると、取得確認ダイアログが表示されます。「はい」を選択することで、選択したコースの教材をトレナビサーバーよりダウンロードします。
- ・最新の教材を取得した場合、バージョンの日付が新しいものに上書きされます。



※教材を再取得するためには、トレナビサーバーへの接続が必要です。なお、通常は起動時に自動で教材のバージョンアップを行うため、再取得を行う必要はありません。

3. データ保守

- ・「データ保守」タブを選択すると、データのバックアップ・リストア機能を使用できます。
以下の機能を持っています。

- (1) データのバックアップ
- (2) データのリストア
- (3) 生徒の進級処理
- (4) 生徒成績情報のCSVファイルエクスポート
- (5) CSVファイルからの生徒情報一括登録

トレーニング学習ナビゲーション ver1.00

メンテナンス：データ保守

環境設定 | データ更新 | **データ保守** | その他 |

バックアップ／リストア

バックアップ先ディレクトリ 参照

バックアップ実行

リストア対象ファイル 参照

リストア実行

進級処理

バックアップ先ディレクトリ 参照

進級処理実行

生徒成績情報エクスポート

エクスポートCSVファイル名 参照

エクスポート実行

生徒情報一括登録

インポートするCSVファイル 参照

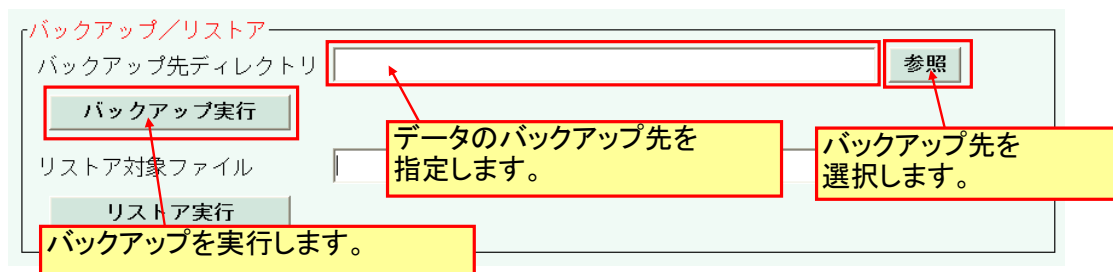
インポート実行 ※エクスポートしたCSVファイルは使用できません

戻る

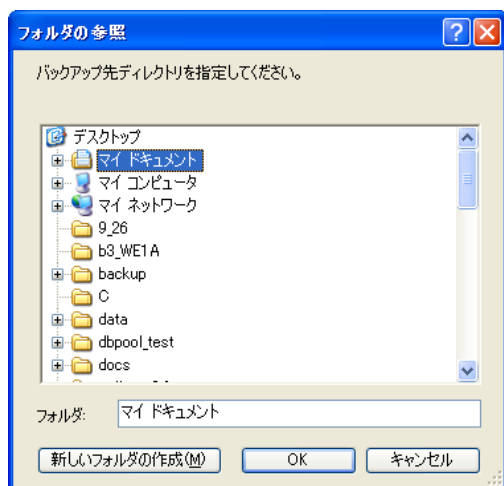
プリント作成 生徒登録・編集 生徒成績管理 試験結果入力 **メンテナンス** メニューに戻る 終了

(1) データのバックアップ

現在の生徒データ、成績データ、試験とその問題のデータ(P25の「保存」ボタンで保存したデータ)、動作設定などを圧縮しコピーします。「バックアップ先ディレクトリ」に直接ディレクトリ名を入れるか、「参照」ボタンでディレクトリを選択してください。



「参照」ボタンを押すと以下の画面が表示されます。(環境によって表示内容は異なります)



入力・選択したディレクトリが書き込み可能であること、十分な空き容量があることを確認してください。バックアップには最低10MB の容量が必要です。もちろん、登録したデータ量によって必要な容量は更に増大します。

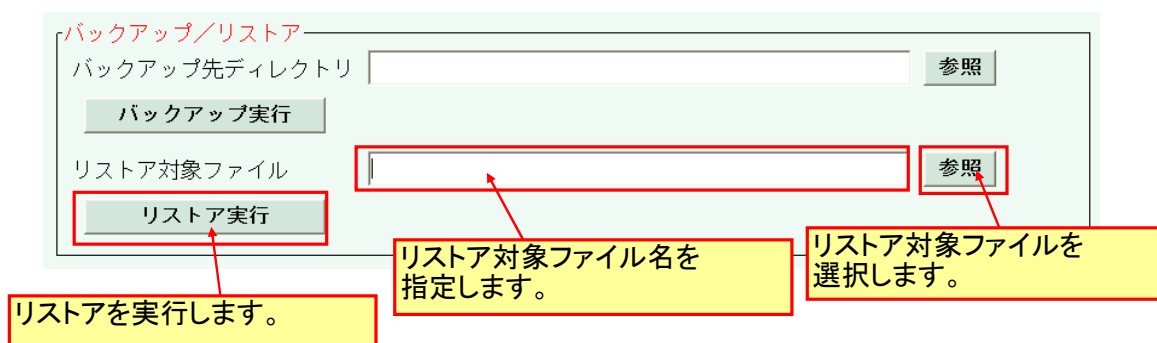
「バックアップ実行」ボタンを押すとバックアップが開始されます。バックアップが成功した場合、指定されたディレクトリに「TNSiken_Backup?????????????.zip」というファイルが作成されます。「???……」の部分は、バックアップを実行した日付および時刻です。
(例: 2011年9月30日午後4時26分29秒の場合、「TNSiken_Backup20110930162629.zip」)

バックアップに成功した場合、「バックアップ先ディレクトリ」は保存されます。次回、同じディレクトリにバックアップしたい場合はそのまま「バックアップ開始」ボタンを押せば実行できます。

バックアップファイルの圧縮には、Windows 標準の zip 圧縮を使用しています。Windows の設定によっては通常のエクスプローラで内容を参照できますが、ファイル内部の変更・削除は行わないでください。

(2) データのリストア

(1)でバックアップしたデータを復帰します。「リストア対象ファイル」に直接ファイル名を入力するか、「参照」ボタンでファイルを選択してください。



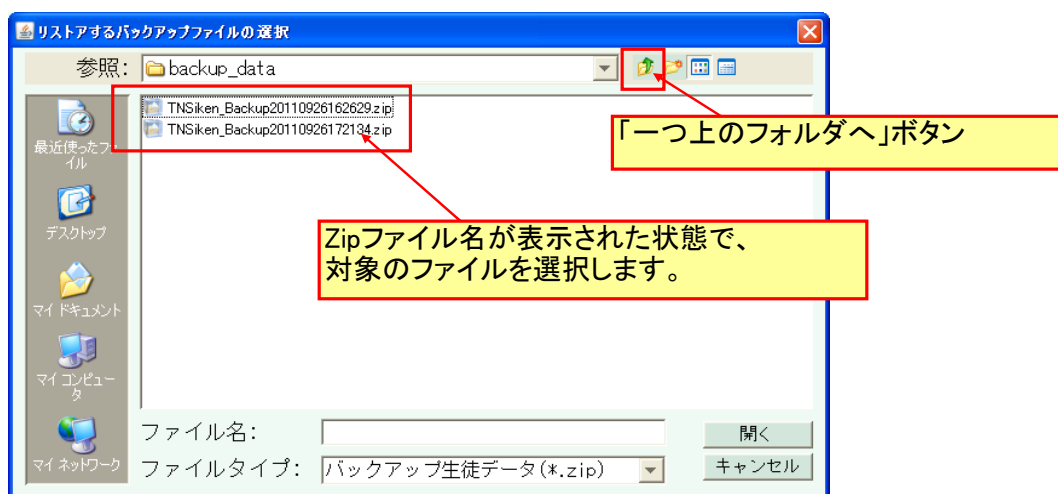
「参照」ボタンを押すと以下の画面が表示されます。(環境によって表示内容は異なります)



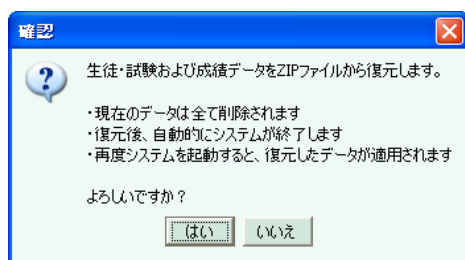
注: Windows の設定によっては、ZIP ファイルの内容が参照できてしまいます !

Windows の設定によっては、Zip ファイルがディレクトリとして扱われ、ファイルの内容が参照できてしまう場合があります。

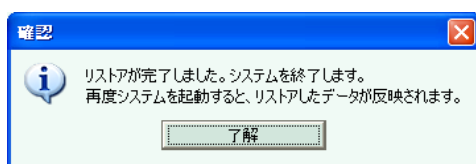
その場合は、「一つ上のフォルダへ」ボタンを押してください。Zipファイルが格納されているディレクトリが表示されますので、改めてバックアップファイル指定することができます。



「リストア実行」ボタンを押すと、以下の確認ダイアログが表示されます。「はい」を選択することで、バックアップファイルからのデータの復帰が開始されます。



リストアに成功すると、完了ダイアログが表示されます。「了解」をクリックすると、自動的にトレーニング学習ナビゲーションが終了します。再度トレーニング学習ナビゲーションを起動すると、新しいデータが反映されます。



(3) 生徒の進級処理

全生徒の学年を一つずつ進級させます。この処理を行う際、**データのバックアップを行う必要があります**。「バックアップ先ディレクトリ」に直接ディレクトリ名を入力するか、「参照」ボタンでディレクトリを選択してください。(操作方法は(1)のバックアップ処理と同様です)

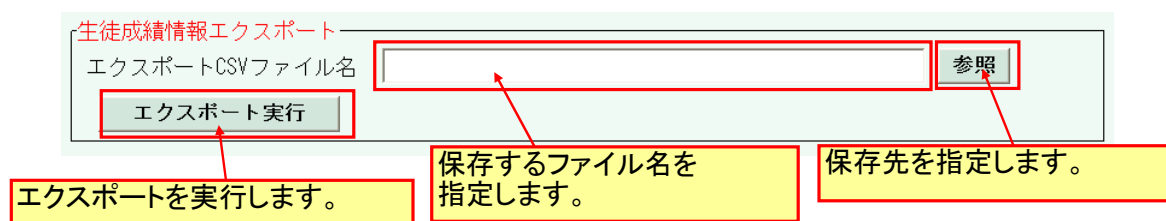
バックアップ先を指定し、「**進級処理実行**」ボタンを押すと、次の確認ダイアログが表示されます。「はい」を選択すると、進級処理が実行されます。

正常に終了すると、以下のダイアログが表示されます。

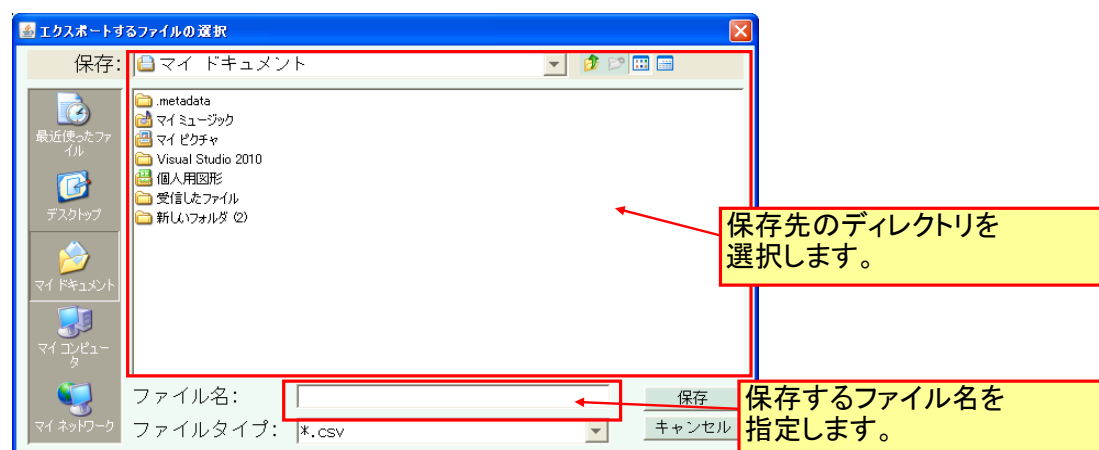
注意事項: 進級処理を実行すると、中3の生徒のデータは、成績データも含め全て削除されます。この処理の前にバックアップしたデータは、必ず保存しておいてください！
なお、**学年が「高校受験」あるいは未選択の生徒は、進級を行いません**。

(4) 生徒成績情報のCSVファイルエクスポート

全生徒の成績情報をCSVファイルにエクスポートします。「エクスポートCSVファイル名」に直接ファイル名を入力するか、「参照」ボタンで保存先とファイル名を指定してください。



「参照」ボタンを押すと以下の画面が表示されます。(環境によって表示内容は異なります)



保存するファイル名を指定し、「エクスポート実行」ボタンを押すことで、全生徒の成績情報がCSVファイルにエクスポートされます。出力される内容は以下のとおりです。

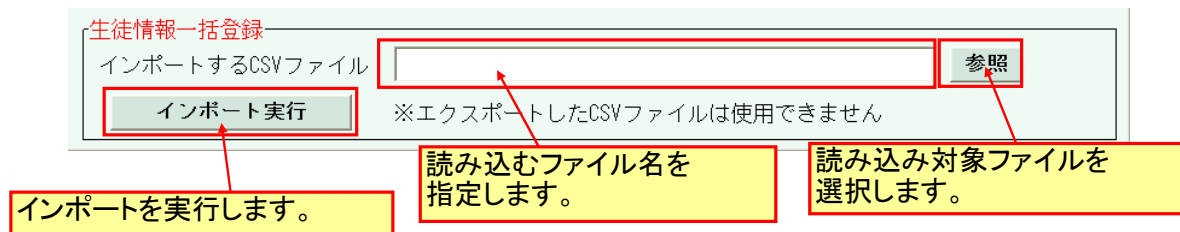
見出し	内容
生徒ID	登録順に一人ずつ割り振られた番号
生徒氏名(姓)	生徒の苗字
生徒氏名(名)	生徒の名前
学校名	生徒登録・編集で登録された学校名
学年	生徒の学年
教室名	生徒登録・編集で登録された教室名
コース名	生徒登録・編集で登録されたコース名
試験ID	保存順に1プリントずつ割り振られた番号
教科	プリントの教科
種別	「定期試験」もしくは「習熟」
対象学年	プリントの対象学年。生徒の学年ではないことに注意。
レベル	プリント作成時に選択したレベル。習熟・WeakPoint の場合は該当の種別
学習日	プリント作成時に指定した学習日
タイトル1	プリント作成時に指定したタイトル
タイトル2	プリント作成時に指定したタイトル
問題数	プリントの問題数
合計点	プリントの全問題の配点を合計した点数
備考	※常に空白
点数	試験結果入力で入力した点数。未入力の場合は0。習熟・WeakPointの場合は常に0

(5) CSVファイルからの生徒情報一括登録

CSVファイル形式で作成された生徒情報をインポートし、データベースに登録します。
「リストア対象ファイル」に直接ファイル名を入力するか、「参照」ボタンでファイルを選択してください。

※あらかじめ、生徒情報が書かれたCSVファイルを作成しておいてください。(形式は後述)

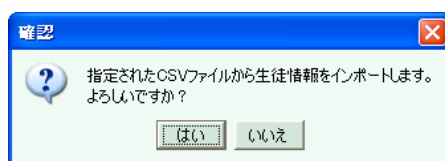
※(4)の生徒成績情報エクスポートで生成されたCSVファイルは使用できません。



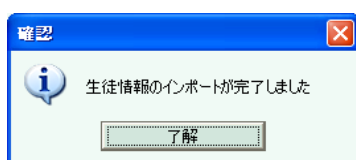
「参照」ボタンを押すと以下の画面が表示されます。(環境によって表示内容は異なります)



インポートするCSVファイルを指定し、「インポート実行」ボタンを押すと、次の確認ダイアログが表示されます。「はい」を選択すると、CSVから生徒情報のインポートが開始されます。



インポートに成功すると、以下のダイアログが表示され、読み込んだ生徒情報がデータベースに追加されます。「生徒登録・編集」業務から確認できます。



※次のページに、インポート用CSVファイルの作成例を掲載します。

生徒情報一括登録で使用するCSVファイルは、以下の形式で作成します。メモ帳やExcelで作成し、[カンマ区切りのCSV形式で保存してください](#)。

(メモ帳の場合)

以下のように、登録する内容を1人1行ずつカンマで区切って入力してください。未入力で登録する場合、対象の箇所は何も入力せずにカンマで区切ります。(カンマの数が1行に5つ=区切った結果が必ず6つになるようにしてください)。

(Excelの場合)

以下のように、登録する内容を1人1行で入力してください。未入力で登録する箇所は空白のままにします。

注意事項:どちらで作成する場合も、「学年」の項目は小3～中3(もしくは高校受験)の中から指定してください。また、姓と名は必ず入力してください。形式を誤った場合、データが登録されない・生徒情報が正しく検索されないなどの不具合が発生する可能性があります。

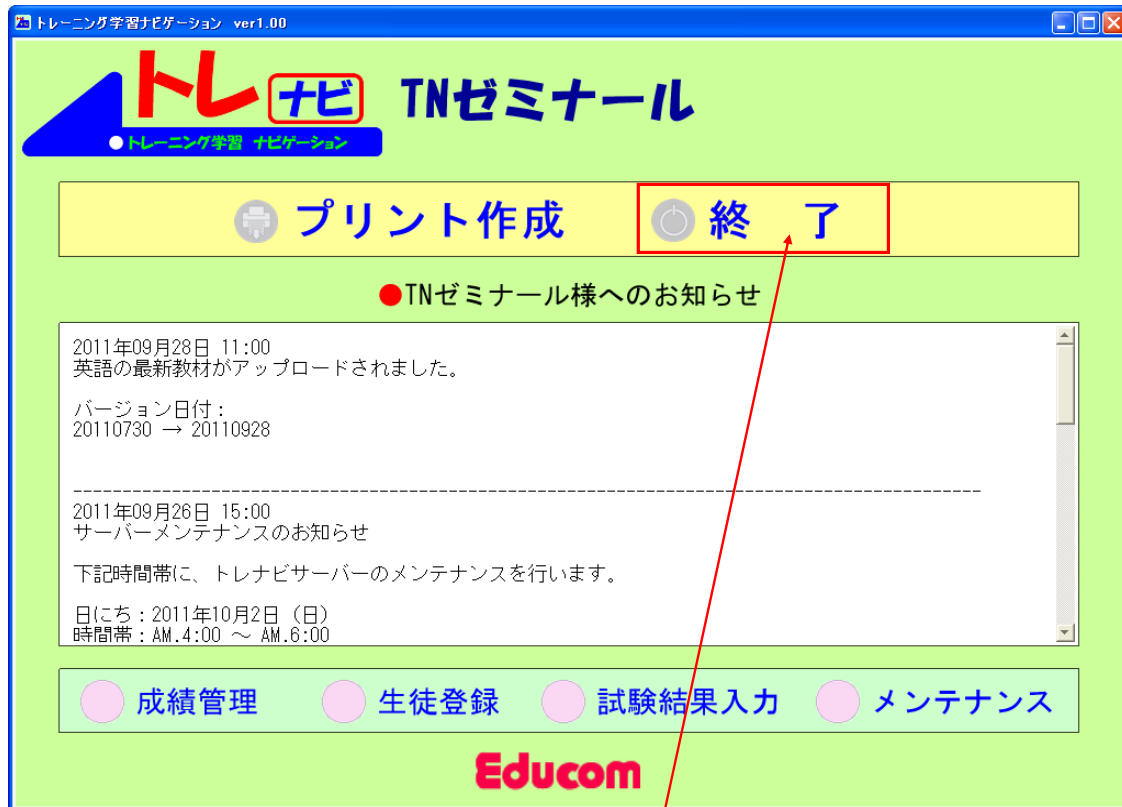
※上記のCSVファイルをインポートした場合、生徒情報は以下のように登録されます。

4. その他

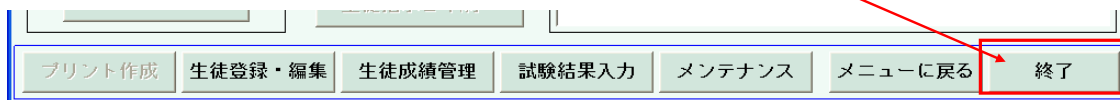
- ・「**その他**」タブを選択すると、ログインしているユーザー名や認証有効期限などを確認できます。



●システムの終了方法



メニュー画面の「終了」、もしくは各業務画面下部の「終了」ボタンをクリックし、システムを終了します。



途中で終了する場合は右上の「×」をクリックしてください。